

# 国民性の変化と新たな評価 ～ 53カ国のソーシャル・キャピタル・データを用いて～<sup>1</sup>

## Changes in National Character and New Evaluations for 53 countries: Using Social Capital Data of World Values Survey

向 伊知郎

Ichiro MUKAI

### 和文要旨：

本研究は、国民性が時代とともに変化するかどうかを検証する。53カ国に焦点を当てて、1990年代と2000年代の国民性を測定して、それらの国々の国民性の変化について評価する。国民性は、1990年代から2000年代に行われた4回にわたる世界価値観調査のアンケート結果を用いて、因子分析によって国民性の構成要素を明らかにしたうえで、構造方程式モデルによって測定する。本稿での国民性の構成要素の測定結果は1990年代と2000年代との間で異なることを示していて、多くの国々で国民性が時代とともに変化していることが明らかになった。この研究は、これまで用いられてきた国民性の測定値に代えて、国際比較研究に新しい測定値を利用することを提案するものである。

### 英文要旨：

This paper examines whether the national character changes with the times. Focus is placed on 53 countries. This paper measures and compares national character of their countries in the 1990s and 2000s. The structural equation model measures national character from the six factors based on factor analysis. Data for measuring national character is from the World Values Survey. The results of tests find that each factor of national character change with the times. This study contributes to propose new indicators of national character for using to the international comparative studies.

**和文キーワード：**規範、国際財務報告基準、国際比較研究、信頼、ソーシャル・キャピタル、ネットワーク

**英文キーワード：**Keywords: International comparative study; International Financial Reporting Standards (IFRS); Networks; Norms; Social Capital; Trust.

### 目 次

- 1 はじめに
- 2 先行研究
- 3 データサンプルとリサーチ・デザイン
- 4 測定および結果
- 5 むすび
- 6 補遺 先進諸国の国民性の比較

1 本研究は、英文ジャーナルへの投稿を意図した論文を日本語で執筆して掲載するものである。

## 1 はじめに

昨今、世界の多くの国々の会計基準が国際会計基準審議会 (International Accounting Standards Board: IASB) による国際財務報告基準 (International Financial Reporting Standards: IFRS) へと収斂して、統一されるようになっている。国際標準の会計基準の適用は、財務情報の国際比較を可能にすると考えられる。その一方で、財務情報だけでは、十分に企業実態を表現することはできないと考えられて、非財務情報の開示が注目されている。非財務情報の開示は、数値以外の記述的な情報を提供して、財務情報と併せて利用することで、情報利用者の意思決定に役立つものとなる。しかし、企業経営を行うのは人間であり、会計基準を適用して会計実務を行ったり、非財務情報の記述を行うのも人間である。ここから、企業が開示する財務報告を用いて意思決定を行うためには、各国の国民性を考慮する必要がある。

本研究は、世界の企業が作成する財務情報を用いた国際比較分析を行う場合に、それらの財務情報にはその作成に関わる人間の特性が影響を及ぼしていることから、国民性を考慮した分析的枠組みの必要性を主張することを意図している。これまで、国民性は変化しないと考えられて、1960年代後半から70年代前半にかけて行われた調査結果に基づいた国民性の測定値を用いた国際比較研究が行われてきた。本研究では、国民性は時代とともに変化しないのかという疑問のもとに、1990年代から2000年代にかけて行われたアンケート調査に基づいて、国民性を測定すると同時にその変化について明らかにすることを目的とする。

調査対象国は、1990年代および2000年代とともにアンケート調査が行われた53カ国<sup>2</sup>とする。アンケート調査は、世界価値観調査協会 (World Values Survey Association: WWSA) が行った世界価値観調査 (World Values Survey: WVS) を用いる。国民性の測定は、アンケート調査における質問への回答について、因子分

析 (Factor Analysis) と構造方程式モデル (Structural Equation Model: SEM) から行う。1990年代および2000年代における国民性を53カ国について測定して、国民性の測定値の変化は、国民性の測定値と調査対象国の中におけるランクの変化を示すのと同時に、各質問への回答の間の母平均の差の検定から検討する。

本研究は、53カ国という比較的多くの国を対象として、1990年代および2000年代における国民性を国別および地域別に測定して、1990年代から2000年代にかけて国民性が変化していることを明らかにしている。これは、今後の会計研究において、時系列データを用いた比較研究や国家間での比較研究を行う上で利用可能であり、国際会計研究に貢献するものである。

## 2 先行研究

向 (2017a; 2017b; 2017c) は、本研究を行うための前段階として、国民性の評価の重要性とその方法について、先行研究をもとに以下のことを明らかにしている。

国民性の研究は、人類学の分野において長い歴史を有している。国民性は、社会科学の分野において、社会文化体系を考えるための重大な概念となる (Inkeles (1997))。国民性という用語は、これまでほとんど定義されておらず、さまざまな形で用いられてきた。Inkeles (1997) によると、多くの先行研究から、「ある特定の社会において共通な、あるいは標準化された特性」という共通項が指摘されている。これは、人間が創り出す社会システムの原因と結果を追求することに役立つ概念である。

会計の分野において、国民性の相違に焦点を当てた国際比較研究では、Gray (1988) が最初と考えられる。Gray (1988) は、国の制度は環境要因の影響を受けると考えられているが、それまでの研究において文化の影響については十分に検討されていないことに着目して、世界の多くの国々を対象に異文化調査を行った Hofstede (1980) および Hofstede (1984) で特定された4つの社会的価値 (Societal Values) から各国の会計制度を比較研究する理論モデルを提案した。

1990年代以降、Gray (1988) の理論モデルに

2 2000年代における国民性の測定では、先行研究との比較を行うために、フランスを含めて54カ国としている。

基づいて、ホーフステッド (Hofstede, Geert) の社会的価値を利用して、会計制度の発展についての比較研究が数多く行われてきた<sup>3</sup>。2000年代に入ると、多くの国の会計基準がIFRSへと収斂するにつれて、財務情報の価値関連性 (value relevance)、財務情報の質、特に利益の質 (earnings quality) および開示の質 (quality of disclosure) と社会的価値を関連付けた国際比較研究が行われるようになった<sup>4</sup>。

Hofstede (1980)<sup>5</sup> は、心理学、組織社会学、および経営学におけるそれまでの理論研究に疑問を感じて、学識者を対象として記述されたものである。ここでは、結論を導くための理論、基礎データ、および統計処理が示されていた。Hofstede (1980) は、全世界に子会社等を持つ多国籍企業であるIBM社 (書籍中はヘルメス社) の40カ国<sup>6</sup> の従業員約11万人を対象に、

- 3 例えば、Doupnik & Salter (1995)、Zarzeski (1996)、Hope (2003) 等がある。詳細については、向 (2017a) を参照。
- 4 例えば、Guan, Pourjalali, Sengupta & Teruya (2005)、Kwok & Tadesse (2006)、Nabar & Boonlert-U-Thai (2007)、Han, Kang, Salterm & Y. K. Yoo (2010)、Hashim (2012)、McGuire, Omer & Sharp (2012)、Riahi & Omri (2013)、Gray, Kang & Yoo (2013)、Gray, Kang, Lin & Tang (2015)、Ugrin, Mason & Emley (2017)、Góis, Franco de Lima, Alves de Sousa & Malacrida (2018)、Gupta, Raman & Shang (2018) 等がある。詳細については、向 (2019a); (2019b) を参照。
- 5 ホーフステッドの著書には、本稿で取り上げるHofstede (1980)、Hofstede (2001)、Hofstede, Hofstede & Minkov (2010) のほか、以下のものがある。Hofstede (1984) は、Hofstede (1980) の基礎データと統計処理の部分を除いて出版されたものである。Hofstede (1991) は、Hofstede (1984) をもとに、社会学者あるいは国際ビジネスの学生のほか、幅広い読者層にむけて出版されたものである。Hofstede & Hofstede (2005) は、Hofstede (1991) の改訂版であり、ホーフステッドの息子 (Hofstede, Gert Jan) との共著として公表されたものである。ホーフステッドの文献については、向 (2017c) を参照。
- 6 ユーゴスラビアに関しては、第2次世界大戦以降、IBM社の子会社が存在しないことから、IBM社の

1968年前後および1972年前後にアンケート調査を行い、世界の主要な国々の国民文化の類似性と差異を検出することで、組織が文化に拘束されていることを明らかにしている。ここでは、文化を構成する要因を社会的価値として、「権力の格差」(Power Distance)、「不確実性の回避」(Uncertainty Avoidance)、「個人主義と集団主義」(Individualism & Collectivism)、および「男性化と女性化」(Masculinity & Femininity) の4つを提示して、国別に社会的価値を測定している。

ホーフステッドは、2001年にHofstede (2001) を公表している。Hofstede (2001) は、Hofstede (1980) の40カ国に10カ国を加えて50カ国を調査対象としている。社会的価値は、Hofstede (1980) の4つの社会的価値に、「長期的志向と短期的志向」(Long- Versus Short- Term Orientation) を加えて5つとして示されている。

Hofstede (2001) は、Hofstede (1980) 以降、政治、ビジネスおよび物事の考え方 (idea) が急速に変化したことに対応して、Hofstede (1980) の改訂版として公表されたものである。それにもかかわらず、Hofstede (2001) の社会的価値の測定値は、Hofstede (1980) の4つの社会的価値に関して変更されておらず、新たに調査対象国となった10カ国についてだけ追加されたものである。新たに社会的価値に加わった「長期的志向と短期的志向」は、1985年に香港の学者ボンド (Bond, Michael Harris) が行った中国価値観調査 (Chinese Value Survey: CVS)<sup>7</sup> と1997年のヨーロッパ・メディア・マーケティング調査 (European Media and Marketing Survey: EMMS)<sup>8</sup> に基づいて測定さ

ユーゴスラビアにおけるコンサルティング会社を通して、調査を行った結果に基づいている。

- 7 CVSは、23カ国の学生を対象とした調査である。「長期的志向と短期的志向」の測定では、CVSが調査した23カ国の中で、Hofstede (1980) の調査対象に含まれていた18カ国に関するデータが利用されている。
- 8 EMMSは、ヨーロッパの15カ国を対象とした調査である。「長期的志向と短期的志向」の測定では、EMMSが調査した15カ国の中で、CVSで網羅されていないが、Hofstede (1980) の調査対象に含まれ

れている。Hofstede (1980) が4つの社会的価値を IBM 社の40カ国における従業員に対して行った調査に基づいて測定しているのに対して、5つ目の社会的価値は、異なった調査に基づいて測定されたものである。

2010年に、ホーフステッドは息子 (Hofstede, Gert Jan) のほか、東ヨーロッパ諸国の文化に精通したミンコフ (Minkov, Michael) を共著者に加えて、Hofstede, Hofstede & Minkov (2010) を公表している。Hofstede et al. (2010) は、Hofstede (2001) の5つの社会的価値に、6つ目の社会的価値として、「放縦と抑制」(Indulgence Versus Restraint) を加えている。

Hofstede et al. (2010) の調査対象国は、Hofstede (1980) の4つの社会的価値に関して78の国と地域 (以下、まとめて「国」という)<sup>9</sup> であり、残り2つの社会的価値に関して96カ国<sup>10</sup> である。しかし、Hofstede (1980) の4つの社会的価値に関して、78カ国のうち50カ国の調査結果は、Hofstede (1980) および Hofstede (2001) のまま変更されていない。「長期的志向と短期的志向」および「放縦と抑制」は、WVSA のWVSを用いて測定されていて、IBM社の従業員への調査に基づいたものではない。

ホーフステッドの異文化研究に類似した調査として、GLOBE (Global Leadership & Organizational Behavior Effectiveness) による調査がある。GLOBE は、2004年に日本を含めた62カ国について調査を行った後、2008年および2014年にも同様の調査を実施している (House, Hanges, Javidan, Dorfman & Gupta (2004)、Chhokar, Brodbeck & House (2008) および House, Dorfman, Javidan, Hanges & Sully de Luque (2014))。2008年および2014年の研究では、定量的分析だけでなく、定性的分析が行われているが、調査対象国が、2008年の調査では25カ国、2014年の調査では24カ

れていた11カ国に関するデータが利用されている。

9 78カ国の中には、アフリカの東地区と西地区、カナダのフランス語圏、ベルギーおよびスイスのフランス語圏とドイツ語圏、並びに東ドイツ地区が含まれている。

10 96カ国の中には、アフリカの東地区と西地区、および東ドイツ地区が含まれている。

国へと縮小されており、かついずれも日本が含まれていない。

GLOBE は、Hofstede (2001) の5つの社会的価値を拡張して、9つの文化的次元 (Cultural Dimensions) から国家の特性を測定して、各国の特性から期待されるリーダーシップ行動について研究している。9つの文化的次元は、業績志向 (Performance Orientation)、積極性 (Assertiveness)、将来志向 (Future Orientation)、人間性志向 (Humane Orientation)、制度的集団主義 (Institutional Collectivism)、グループ内集団主義 (In-Group Collectivism)、ジェンダー寛容主義 (Gender Egalitarianism)、権力の格差 (Power Distance)、不確実性の回避 (Uncertainty Avoidance) である (House et al. (2004))<sup>11</sup>。GLOBE の文化的次元の中には、ホーフステッドの社会的価値と同一あるいは類似した項目がある。

ホーフステッドと GLOBE の研究は、いずれも文化の視点から国民性を評価して、各国の特性が組織行動に影響を及ぼしていることを明らかにしている点で類似している。これらは、経営者の責任のもとに作成および開示される財務情報の特性を研究する上でも重要な調査であると考えられる。一方で、ホーフステッドの社会的価値に関する測定結果と GLOBE の文化的次元に関する測定結果との間には、数多くの矛盾が指摘される<sup>12</sup>。同一あるいは類似した社会的価値あるいは文化的次元の項目であるにもかかわらず、結果が異なっていることは、測定結果の信頼性から問題である。

文化の視点から国民性の評価を行ったホーフステッドおよび GLOBE の調査以外に、社会学の分野では、文化に、民族、宗教といった視点を加えたソーシャル・キャピタル (Social Capital) に焦点を当てて、国民性の評価が行われてきた。ソーシャル・キャピタルは、社会的関係が人間の活動をよりよくするために必要な

11 これらの文化的次元は、質問事項を、社会 (Society) と組織 (Organization) に分けているのと同時に、現状 (Practices) とあるべき姿 (Values) に分けて、それぞれ測定されている。

12 詳細については、向 (2017c) を参照。

資源であるという考え方から研究されるようになった概念である (Dasgupta & Serageldin (1999))。ソーシャル・キャピタルの定義はさまざまであるが、Putnam (1993) は、「協調的行動を容易にすることにより社会の効率を改善しうる信頼 (Trust)、規範 (Norms)、ネットワーク (Networks) のような社会的組織の特徴」と定義している。ここから、多くのソーシャル・キャピタル研究が、信頼、規範、ネットワークの3つをその構成要素であると指摘している。

Putnam (1993) は、信頼を「厚い信頼」(thick trust) と「社会的信頼」(social trust) の2つに分けて説明する。厚い信頼は、個人との親密な関係から生じる信念を意味する。社会的信頼は、より広い分野の他のメンバーとの一般的な信頼関係を意味する。社会的信頼は、その地域の他のメンバーとのより幅広い協力を生み出すため、その地域のソーシャル・キャピタルの開発に役立つ。現代のような複雑な環境では、社会的信頼が、互酬性 (reciprocity) の規範や市民参加のネットワークなどからもたらされる可能性がある。

Putnam (1993) は、さまざまなタイプの規範の中で、特に互酬性の規範に注目する。互酬性の規範は、相互依存的な交換であり、「均衡のとれた互酬性」(balanced reciprocity) と「一般化された互酬性」(generalized reciprocity) に分類される。均衡のとれた互酬性の規範は、同等の品目を同時に交換することである。一般化された互酬性の規範は、ある時点では、不均衡な交換であるが、将来的には均衡が達成されるという相互の期待に基づく交換の持続的な関係である。一般化された互酬性の規範は、短期的には他者に効用を提供するであろうという利他主義に基づいており、長期的にはすべての当事者の効用を高めるであろう利己主義になる。したがって、一般化された互酬性の規範が、ソーシャル・キャピタルを生み出す極めて生産的な要素となる。

Putnam (1993) は、市民参加ネットワークを、「水平的ネットワーク」(horizontal networks) と「垂直的ネットワーク」(vertical networks) に分類する。水平的ネットワークは、個人の日常的な結びつきや、相互活動の幅を意味する。垂直的ネットワークは、地域活動やさまざまな

組織の結成状況など、地域や組織に対する階層的・従属的な結びつきの程度に関連する。例えば、組織における部下は搾取されることを嫌い、多くの情報を開示しないことで身を守るため、垂直的ネットワークは水平的ネットワークよりも信頼性が低くなる。

パットナムは、このようにソーシャル・キャピタルを、信頼、規範およびネットワークに分けて、それらの概念がさらに分類して解釈されることを指摘している。ソーシャル・キャピタルは、経済学、経営学等の社会科学の分野でも注目を集めていて、国の経済発展や企業行動を説明するために用いられている<sup>13</sup>。

これまでに多くの機関が、さまざまな目的のもとに、ソーシャル・キャピタルの調査および分析を行ってきた。日本では、統計数理研究所が、1953年に日本人の国民性を調査して以来、「意識の国際比較」調査を行っている。統計数理研究所は、2015年に9カ国を対象<sup>14</sup>として、基本的な質問事項54項目に基づいた総合報告書を公表している (統計数理研究所 (2015))。

経済協力開発機構 (Organisation for Economic Co-operation and Development: OECD) は、経済発展とソーシャル・キャピタルの関係について分析するため、ソーシャル・キャピタルの調査および測定の方法について検討してきた (Healy & Cote (2001)、Scrivens & Smith (2013))。Scrivens & Smith (2013) は、ソーシャル・キャピタルについて、①個人的な関係、②ソーシャル・ネットワーク・サポート、③市民活動、④信頼と協調規範といった4つの解釈のもと、アンケート調査を行う質問事項について示しているが、今のところ測定は行われていない。

世界銀行 (World Bank) は、貧困撲滅と持

13 内閣府国民生活局は、ソーシャル・キャピタルと経済、社会等の発展に関する研究論文を発行している (内閣府国民生活局 (2003))。その他、宮川・大守編 (2004)、稲葉編 (2008)、国領 (2013)、池田編 (2016) を参照。

14 日本の他、アメリカ、中国、韓国、台湾、シンガポール、インド、ベトナム、オーストラリアの9カ国である。中国は、北京、上海および香港の3地域に分けて調査が行われている。

統的経済成長を目的に、ソーシャル・キャピタルと経済格差との関係について定量的・定性的分析方法を用いて調査および分析をして、ソーシャル・キャピタルの育成に向けての研究を行っている。研究過程では、ソーシャル・キャピタルの調査方法が開発されている。Grootaert & van Bastelaer (2002) は、ソーシャル・キャピタルを、①人間関係とネットワーク、②信頼と規範の遵守、③集団行動の3つに分けて、世帯調査、地域社会調査および組織調査を行うガイドライン等を定めた評価ツールとしてSOCAT (Social Capital Assessment Tool) を提案している。Grootaert & Narayan (2004) は、発展途上国の世帯調査に焦点を当てたソーシャル・キャピタルの評価ツールとして、SC-IQ (Integrated Questionnaire for the Measurement of Social Capital) を開発している。これは、ソーシャル・キャピタルを、①集団とネットワーク、②信頼と連携、③集団行動と協力、④情報とコミュニケーション、⑤社会的結束とまとめ、⑥権力と政治活動の6つに分けて、アンケート調査に基づいて測定するものである。世界銀行は、これらの評価ツールを用いて、パイロットテストを行っているが、世界各国についての測定結果を公表していない。

イギリス、オーストラリア、ドイツおよびアメリカが共同で立ち上げた国際社会調査プログラム (International Social Survey Programme: ISSP) は、現在57カ国が加盟して、社会科学の重要なトピックに関する基礎的な調査および研究を行っている<sup>15</sup>。ISSPは、これまでに11のトピックに関して、30カ国から40カ国においてそれぞれ50,000人前後を対象として調査を行っているが、それぞれのトピックでの質問は30前後と比較的少ない。

このようにソーシャル・キャピタルの調査の

15 宗教および国民性以外のトピックには、政府の役割、ソーシャルネットワーク、社会的不平等、家族と性別の役割、ワークオリエンテーション、環境、市民権、余暇とスポーツ、健康とヘルスケアがある。ISSPには、日本からNHK放送文化研究所が参加している。詳細については、ISSPのHPを参照 (<http://www.issp.org/menu-top/home/>)。(詳細については、向 (2017c) を参照。

多くは、調査対象国や質問事項が少なかったり、測定が行われていないといった問題が指摘される。その中で、調査対象国、質問事項の範囲、質問事項の数等において、最も多くからソーシャル・キャピタルについて調査している機関がWVSAである。

WVSAは、世界の社会学者から構成されている組織である。WVSAは、異なった国の人々の意識変化と、それが社会的、文化的、政治的活動に及ぼす影響について調査することを目的として、WVSを行っている。WVSは、1981年の第1回調査(Wave 1)以降、現在第7回調査(Wave 7)が進行中であり、延べ参加国は世界人口の約90%を占める100カ国、40万人を超えた調査である。第6回調査(Wave 6)では、61の国と地域(以下、まとめて国と呼ぶ)を対象として、政治、経済、労働、宗教、家族、社会、環境、国際問題といった幅広い項目に関連した質問事項262項目に基づいて調査が行われている(図表1を参照)<sup>16</sup>。WVSは、他のソーシャル・キャピタルの調査と比較して、最も多くの国を対象として、幅広い視点から、定期的に国民性の評価を行っている点で注目に値する。

この調査は、ソーシャル・キャピタルという抽象的な概念に関して、昨今注目を集めるビッグデータの特性から説明可能なデータを提供する調査と考えられる(向 (2017b))。また、WVSは、その一部が、Hofstede (2001) および Hofstede et al. (2010) における社会的価値の測定や、GLOBEの調査結果の検証にも利用されていて、文化の視点から国民性の評価を行った研究を一層拡大および発展させて国民性の評価を行うために有用であると考えられる。

向 (2017a; 2017b; 2017c) は、上記のような先行研究をもとに、国民性の評価の重要性とその測定にWVSの利用が適切であることを明らかにした。そのうえで向 (2017d) は、2000年代に行われた調査をもとに、IFRSの適用と財務情報の意思決定有用性を考えるうえで注目される7カ国に焦点を当てて、国民性を評価して

16 日本の調査は、東京大学「価値・政治・社会意識」研究会が主体となって行っている。WVSAのHPを参照 (<http://www.worldvaluessurvey.org/WVSCContents.jsp>)。

いる。しかし、向（2017d）では、会計先進諸国という比較的経済的に発展を遂げている国に焦点を当てていることから、世界的レベルから見た国民性の相違は明らかにできていない。そこで、本稿では、調査対象国と利用するアンケートの調査年度を拡張することで、多くの国々の国民性が時代とともに変化していることと、現状での評価を行うものである。

図表 1 WVS の概要

Wave No.	Survey Years	Countries & Area	Units	Ques.* <sup>1)</sup>
Wave1	1981-1984	10	13,586	238
Wave2	1990-1994	18	24,558	375
Wave3	1995-1998	57	76,036	238
Wave4	1999-2004	41	57,868	246
Wave5	2005-2009	58	80,950	267
Wave6	2010-2014	61	86,274	262
Wave7	2015-			

\*1) 変数として利用不能な質問事項を含む。

### 3 データサンプルとリサーチ・デザイン

先行研究の中で、国際比較研究に最も多く用いられるホーフステットの研究は、質問への回答の平均値および因子分析の結果をもとに0から100の数値になるように修正を加えて、6つの社会的価値の測定を行っている。一方で、それらの質問項目の選択は、分析者の主観で行われていて、統計的な裏付けは明らかでない。

本研究における国民性の測定は、WVSにおいて調査対象国が拡張されたWave3からWave6までのデータを用いて行う。Wave3からWave6までの4回の調査において、調査対象国は延べ101カ国であり、1カ国につき平均で2.15回の調査が行われている。そこで、できるだけ多くの国を対象として、異なった時代における国民性の測定と変化を明らかにするために、Wave3とWave4（Wave3&4）およびWave5とWave6（Wave5&6）をそれぞれ1つのグループとした。Wave3&4における調査対象国は延べ73カ国<sup>17</sup>、Wave5&6における調査対

象国は延べ80カ国<sup>18</sup>である。Wave3&4は、1995年から2004年までに行われたアンケート調査であるが、そこから測定される国民性を「1990年代の国民性」とする。Wave5&6は、2005年から2014年までに行われたアンケート調査であるが、そこから測定される国民性を「2000年代の国民性」とする。

Wave3&4およびWave5&6の両方で調査が行われた国の数は、53カ国であった。Wave3からWave6までに行われた質問は全体で528項目、共通して行われた質問は88項目であり、その中で53カ国に対して共通して行われた質問<sup>19</sup>は51項目であった。これらの質問項目の中で、リッカート・スケール（Likert scale）にて回答する質問は44項目であった。国別の質問調査の対象者数は図表2のとおりである。

1990年代の国民性および2000年代の国民性のそれぞれの測定は、以下の手順で行う。

- ① Wave3&4 および Wave5&6 において最低1回ずつアンケート調査が行われて、1990年代の国民性と2000年代の国民性が比較可能となる国を選択する。
- ② Wave3 から Wave6 までのすべてのアンケート調査における質問で、リッカート・スケールで回答するものだけを選択する。
- ③ 回答するリッカート・スケールの順序スケールに相違がみられたことから、すべての回答が因子群の評価を高めるものとなるように並び替えて整理する。
- ④ Wave3 から Wave6 の選択および整理されたすべての質問への回答について因子分析を行うことで、国民性の測定に用いることのできる因子を選択する。因子分析は、一般的に利用される最尤法（Maximum Likelihood Method）<sup>20</sup>を用いて、因子軸の回転ではバリマックス法（Varimax rotation）<sup>21</sup>を用いる。

18 香港は、1997年に中国に返還されているが、調査では1つの国として行われている。

19 質問項目は、特定の国に対して、Wave3&4とWave5&6のいずれかで行われていれば含めている。

20 因子分析は、主因子法（Principal Factor Analysis）でも行っている。

21 因子軸の回転では、プロマックス法（Promax rotation）でも行っている。

17 ドイツは、1990年に統一されていたが、調査では東ドイツと西ドイツに分けて行われている。

図表2 質問調査の対象者数

No.	Code	Country	Region	Wave3	Wave4	Wave5	Wave6	Wave3&4	Wave5&6	Sum	
1	12	Algeria	Africa	---	1,282	---	1,200	1,282	1,200	2,482	
2	818	Egypt	Africa	---	3,000	3,051	1,523	3,000	4,574	7,574	
3	504	Morocco	Africa	---	1,251	1,200	1,200	1,251	2,400	3,651	
4	566	Nigeria	Africa	1,996	2,022	---	1,759	4,018	1,759	5,777	
5	710	South Africa	Africa	2,935	3,000	2,988	3,531	5,935	6,519	12,454	
6	716	Zimbabwe	Africa	---	1,002	---	1,500	1,002	1,500	2,502	
7	156	China	Asia	E.Asia	1,500	1,000	1,991	2,300	2,500	4,291	6,791
8	392	Japan	Asia	E.Asia	1,054	1,362	1,096	2,443	2,416	3,539	5,955
9	410	South Korea	Asia	E.Asia	1,249	1,200	1,200	1,200	2,449	2,400	4,849
10	158	Taiwan	Asia	E.Asia	780	---	1,227	1,238	780	2,465	3,245
11	356	India	Asia	S.Asia	2,040	2,002	2,001	4,078	4,042	6,079	10,121
12	586	Pakistan	Asia	S.Asia	733	2,000	---	1,200	2,733	1,200	3,933
13	360	Indonesia	Asia	SE.Asia	---	1,000	2,015	---	1,000	2,015	3,015
14	608	Philippines	Asia	SE.Asia	1,200	1,200	---	1,200	2,400	1,200	3,600
15	702	Singapore	Asia	SE.Asia	---	1,512	---	1,972	1,512	1,972	3,484
16	704	Viet Nam	Asia	SE.Asia	---	1,000	1,495	---	1,000	1,495	2,495
17	756	Switzerland	Europe	---	1,212	---	1,241	---	1,212	1,241	2,453
18	276	Germany	Europe	---	2,026	---	2,064	2,046	2,026	4,110	6,136
19	724	Spain	Europe	---	1,211	1,209	1,200	1,189	2,420	2,389	4,809
20	826	United Kingdom	Europe	---	1,093	---	1,041	---	1,093	1,041	2,134
21	246	Finland	Europe	Nordic	987	---	1,014	---	987	1,014	2,001
22	752	Sweden	Europe	Nordic	1,009	---	1,003	1,206	1,009	2,209	3,218
23	578	Norway	Europe	Nordic	1,127	---	1,025	---	1,127	1,025	2,152
24	100	Bulgaria	Europe	E.Europe	1,072	---	1,001	---	1,072	1,001	2,073
25	348	Hungary	Europe	E.Europe	650	---	1,007	---	650	1,007	1,657
26	616	Poland	Europe	E.Europe	1,153	---	1,000	966	1,153	1,966	3,119
27	642	Romania	Europe	E.Europe	1,239	---	1,776	1,503	1,239	3,279	4,518
28	688	Serbia	Europe	E.Europe	1,280	1,200	1,220	---	2,480	1,220	3,700
29	705	Slovenia	Europe	E.Europe	1,007	---	1,037	1,069	1,007	2,106	3,113
30	51	Armenia	Europe	E.Europe (F)USSR	2,000	---	---	1,100	2,000	1,100	3,100
31	31	Azerbaijan	Europe	E.Europe (F)USSR	2,002	---	---	1,002	2,002	1,002	3,004
32	112	Belarus	Europe	E.Europe (F)USSR	2,092	---	---	1,535	2,092	1,535	3,627
33	233	Estonia	Europe	E.Europe (F)USSR	1,021	---	---	1,533	1,021	1,533	2,554
34	268	Georgia	Europe	E.Europe (F)USSR	2,008	---	1,500	1,202	2,008	2,702	4,710
35	417	Kyrgyzstan	Europe	E.Europe (F)USSR	---	1,043	---	1,500	1,043	1,500	2,543
36	498	Moldova	Europe	E.Europe (F)USSR	984	1,008	1,046	---	1,992	1,046	3,038
37	643	Russian Federation	Europe	E.Europe (F)USSR	2,040	---	2,033	2,500	2,040	4,533	6,573
38	804	Ukraine	Europe	E.Europe (F)USSR	2,795	---	1,000	1,500	2,795	2,500	5,295
39	32	Argentina	S.America	---	1,079	1,280	1,002	1,030	2,359	2,032	4,391
40	76	Brazil	S.America	---	1,143	---	1,500	1,486	1,143	2,986	4,129
41	152	Chile	S.America	---	1,000	1,200	1,000	1,000	2,200	2,000	4,200
42	170	Colombia	S.America	---	6,025	---	3,025	1,512	6,025	4,537	10,562
43	484	Mexico	S.America	---	1,510	1,535	1,560	2,000	3,045	3,560	6,605
44	604	Peru	S.America	---	1,211	1,501	1,500	1,210	2,712	2,710	5,422
45	858	Uruguay	S.America	---	1,000	---	1,000	1,000	1,000	2,000	3,000
46	364	Iran	M.E.	---	---	2,532	2,667	---	2,532	2,667	5,199
47	368	Iraq	M.E.	---	---	2,325	2,701	1,200	2,325	3,901	6,226
48	400	Jordan	M.E.	---	---	1,223	1,200	1,200	1,223	2,400	3,623
49	792	Turkey	M.E.	---	1,907	3,401	1,346	1,605	5,308	2,951	8,259
50	124	Canada	N.America	---	---	1,931	2,164	---	1,931	2,164	4,095
51	840	United States	N.America	---	1,542	1,200	1,249	2,232	2,742	3,481	6,223
52	36	Australia	Oceania	---	2,048	---	1,421	1,477	2,048	2,898	4,946
53	554	New Zealand	Oceania	---	1,201	---	954	841	1,201	1,795	2,996
参考	250	France	Europe	---	---	---	1,001	---	0	1,001	1,001
				63,161	46,421	64,762	63,988	109,582	128,750	238,332	

## Abbreviation

Wave3: 1995-1998調査

Wave4: 1999-2004調査

Wave5: 2005-2009調査

Wave6: 2010-2014調査

(F)USSR: Former USSR (Soviet Union)

E.Asia: East Asia

E.Europe: Eastern Europe

M.E.: Middle East

N.America: North America

S.America: Latin America and the Caribbean

S.Asia: South Asia

SE.Asia: Southeast Asia

⑤ 因子分析の結果、共通性の低い(0.2未満とした)質問は除外して、再度、因子分析を行うことで、国民性の測定に利用可能な質問を明らかにする。

⑥ 因子分析の結果抽出された各因子が国民性を構成する構成要素であるとして、各質問の内

容から構成要素を命名する。

⑦ 構成要素ごとにSEMのためのパス図を描く。

⑧ 1990年代の国民性を測定するためにWave3&4のアンケート調査における質問への回答を、2000年代の国民性を測定するためにWave5&6のアンケート調査における質



問への回答を用いて、描かれたパス図をもとにSEMを実行する。

- ⑨ 1990年代および2000年代の各国民性は、それぞれのSEMの結果明らかになった非標準化係数および残差、並びに国別のアンケート調査における質問への回答の平均値を用いて、構成要素の数値化を行うことで測定する。次に、国民性が時代とともに変化したかに関して、以下の2つの検証を行う。
- ① Wave3&4 および Wave5&6 における共通の質問への回答間での、母平均の差の検定を行う。
- ② Wave3&4 および Wave5&6 からそれぞれ抽出された構成要素の数値について、その変化の大きさとランキングの変化を評価する。

#### 4 測定および結果

Wave3からWave6の44の質問への回答をもとに因子分析を行い、共通性の低い質問項目を除外したところ、国民性の構成要素の測定で利用される質問は30項目となった。30項目に関するWave3&4およびWave5&6の記述統計は、付表(別に掲載)<sup>22</sup>のとおりである。因子分析の結果は、図表3のとおりである。国民性の構成要素は6つ選択されている。因子分析の結果をもとに、各質問の内容を精査したところ、各因子はソーシャル・キャピタルの構成要素と言われる信頼、規範およびネットワークとの関わりから命名することができた。30の質問の内容およびリッカート・スケールの最高点と最低点は、図表4のとおりである。

因子分析の結果抽出された因子をもとに、国民性の構成要素に関してSEMを実行する。SEMを実行するためのパス図およびSEMの結果は、図表5のPanel AからPanel Fとおりである。図表5は、非標準化での推定値等を示している。ここで示された推定値および切片をもとに、付表で示したWave3&4およびWave5&6における国別の各質問への回答の平均値を用いて、国民性の構成要素の測定を行う。図表6のPanel AからPanel Fは、Wave3&4およびWave5&6を用いて測定された各国の国民

性の構成要素の測定値とその変化を、2000年代のスコアのランクに従って示している。

国民性を測定する構成要素について、1990年代と2000年代を比較すると、「社会制度に対する信頼」、「命や性に対する規範」および「社会への信頼(安心感)から感じる幸福感」の測定値が多くの国で上昇していて、「宗教への意識(信心深さ)」、「法や規律への規範」および「政治的活動への参加といった意欲」の測定値は多くの国で低下している。これらのスコアおよびそれらの変化では、国や地域における特徴も指摘できる。

1990年代と2000年代の国民性の構成要素の測定値では、以下のことが明らかになる。

「社会制度に対する信頼」は、公的サービスを含めて、一定の目的を持ったさまざまな組織への信頼から測定されている。「社会制度に対する信頼」の測定値は、1990年代および2000年代ともに、ベトナム、中国、インド、フィリピンといったアジア諸国、ノルウェー、スウェーデンといった北欧諸国で高く、メキシコ、アルゼンチン、ペルーといった南米諸国、ルーマニア、セルビアといった東欧諸国で低かった。

「命や性に対する規範」は、生命の尊さや性行為の規律に関する考え方から測定されている。「命や性に対する規範」の測定値は、1990年代および2000年代ともに、ヨルダン、イランといった中東諸国、パキスタン、インドネシア、ベトナムといったアジア諸国、エジプト、ナイジェリア、ジンバブエ、モロッコといったアフリカ諸国で高く、フィンランド、ノルウェー、スウェーデンといった北欧諸国を含めて、ドイツ、イギリス、スペイン、スイスといったヨーロッパ諸国、ニュージーランド、オーストラリアといったオセアニア諸国で低かった。

「宗教への意識(信心深さ)」は、日常的な宗教活動への参加等を含めた信心深さから測定されている。「宗教への意識(信心深さ)」の測定値は、1990年代および2000年代ともに、モロッコ、ナイジェリア、ジンバブエ、エジプトといったアフリカ諸国、インドネシア、フィリピン、パキスタンといったアジア諸国で高く、ベトナム、日本、中国といったアジア諸国、スウェーデン、ノルウェーといった北欧諸国を含めて、ドイツ、エストニアといったヨーロッパ諸国で

22 紙幅の都合から、付表は下記に掲載する (<http://www.aichi-gakuin.ac.jp/~ichiro/page09.html>)。

図表3 因子分析の結果

No.	Ques. No.	信頼:社会的制度	規範:生・性	規範:宗教心	規範:法・規律	信頼:幸福感	ネットワーク:政治的活動への参加
1	E06902	0.435	0.078	0.099	0.059	0.029	-0.006
2	E06905	0.533	0.026	0.010	-0.029	0.003	0.067
3	E06906	0.572	-0.058	-0.024	0.094	0.081	0.011
4	E06907	0.825	0.024	-0.005	0.013	0.011	-0.016
5	E06908	0.692	0.051	0.025	0.011	0.006	0.004
6	E06911	0.754	0.039	0.017	0.024	0.037	-0.075
7	E06912	0.745	0.046	0.009	-0.026	0.018	0.004
8	E06913	0.489	0.023	0.079	-0.018	0.081	-0.010
9	E06920	0.423	-0.043	0.019	-0.016	0.036	0.040
10	F118	0.015	0.691	0.149	0.091	-0.146	-0.152
11	F119	0.046	0.667	0.097	0.241	-0.070	-0.058
12	F120	0.010	0.706	0.279	0.097	0.034	-0.115
13	F121	0.068	0.697	0.184	0.027	-0.010	-0.132
14	F122	0.052	0.578	0.274	0.107	-0.009	-0.112
15	F123	-0.011	0.535	0.140	0.267	-0.013	-0.073
16	A006	0.046	0.233	0.784	-0.004	0.014	-0.067
17	E06901	0.217	0.174	0.613	-0.026	0.010	-0.066
18	F028	0.039	0.196	0.641	-0.035	0.055	-0.004
19	F034	-0.010	0.104	0.671	0.011	-0.009	-0.037
20	F063	-0.009	0.221	0.762	0.006	0.054	-0.090
21	F114	0.021	0.063	-0.020	0.603	0.002	0.046
22	F115	0.045	0.132	0.000	0.668	0.013	-0.008
23	F116	0.038	0.158	0.030	0.714	0.064	-0.019
24	F117	-0.028	0.181	-0.053	0.663	0.018	0.055
25	A008	0.089	-0.012	0.076	0.037	0.539	0.027
26	A170	0.045	-0.063	0.010	0.023	0.841	0.028
27	C006	0.095	-0.067	-0.008	0.016	0.662	0.018
28	E025	-0.004	-0.229	-0.096	0.090	0.118	0.653
29	E026	0.048	-0.126	-0.068	0.013	0.001	0.719
30	E027	0.008	-0.113	-0.046	-0.012	-0.015	0.661

低かった。

「規律を遵守するという規範」は、違法行為が正当化されるかといった考え方から測定されている。「規律を遵守するという規範」の測定値は、1990年代および2000年代ともに、日本、モロッコ、ヨルダン、オーストラリア、パキスタン、エジプト、ベトナムといった国々で高く、ウクライナ、ベラルーシ、モルドバといった旧ソビエト連邦諸国で低かった。

「社会への信頼（安心感）から感じる幸福感」は、自らの人生の満足感から測定されている。「社会への信頼（安心感）から感じる幸福感」の測定値は、1990年代および2000年代ともに、メキシコ、コロンビアといった南米諸国、スウェーデン、ノルウェー、フィンランドとい

た北欧諸国を含め、スイス、イギリスといったヨーロッパ諸国、ニュージーランド、オーストラリアといったオセアニア諸国、アメリカ、カナダといった北米諸国で高く、ベラルーシ、モルドバ、ウクライナ、アルメニア、ジョージア、ロシアといった旧ソビエト連邦諸国で低かった。

最後に、「政治的活動への参加といった意欲」は、人間の横のネットワークを利用した集団としての政治的活動への参加から測定されている。「政治的活動への参加といった意欲」の測定値は、1990年代および2000年代ともに、スウェーデン、ノルウェー、フィンランドといった北欧諸国を含めて、イギリス、ドイツといったヨーロッパ諸国、ニュージーランド、オーストラリアといったオセアニア諸国、アメリカ、

図表4 質問項目とリッカートスケール

No.	Factor	Ques.No.	Question	Scale	Lowest score	Highscore
1	信頼:社会的制度	E06902	信頼:軍隊	4	まったく信頼していない	極めて信頼している
2	信頼:社会的制度	E06905	信頼:労働組合	4	まったく信頼していない	極めて信頼している
3	信頼:社会的制度	E06906	信頼:警察	4	まったく信頼していない	極めて信頼している
4	信頼:社会的制度	E06907	信頼:議会	4	まったく信頼していない	極めて信頼している
5	信頼:社会的制度	E06908	信頼:市民サービス	4	まったく信頼していない	極めて信頼している
6	信頼:社会的制度	E06911	信頼:政府	4	まったく信頼していない	極めて信頼している
7	信頼:社会的制度	E06912	信頼:政党	4	まったく信頼していない	極めて信頼している
8	信頼:社会的制度	E06913	信頼:大企業	4	まったく信頼していない	極めて信頼している
9	信頼:社会的制度	E06920	信頼:国際連合	4	まったく信頼していない	極めて信頼している
10	規範:生・性	F118	正義感:同性愛	10	正当化される	正当化されない
11	規範:生・性	F119	正義感:売春	10	正当化される	正当化されない
12	規範:生・性	F120	正義感:中絶	10	正当化される	正当化されない
13	規範:生・性	F121	正義感:離婚	10	正当化される	正当化されない
14	規範:生・性	F122	正義感:安楽死	10	正当化される	正当化されない
15	規範:生・性	F123	正義感:自殺	10	正当化される	正当化されない
16	規範:宗教心	A006	人生での重要なもの:宗教	4	まったく重要でない	極めて重要である
17	規範:宗教心	E06901	信頼:教会	4	まったく信頼していない	極めて信頼している
18	規範:宗教心	F028	宗教行事への参加	8	まったく参加しない	1週間に1回以上参加する
19	規範:宗教心	F034	信心深さ	4	まったくの無神論者	宗教信者
20	規範:宗教心	F063	人生における神の重要性	10	まったく重要でない	極めて重要である
21	規範:法・規律	F114	正義感:政府の利益への不満	10	正当化される	正当化されない
22	規範:法・規律	F115	正義感:公共交通機関の運賃のごまかし	10	正当化される	正当化されない
23	規範:法・規律	F116	正義感:脱税行為	10	正当化される	正当化されない
24	規範:法・規律	F117	正義感:賄賂の受け取り	10	正当化される	正当化されない
25	信頼:幸福感	A008	幸福への満足度	4	まったく幸せでない	とても幸せ
26	信頼:幸福感	A170	人生への満足度	10	満足していない	満足している
27	信頼:幸福感	C006	家計の満足度	10	満足していない	満足している
28	ネットワーク:政治的活動への参加	E025	政治的活動:署名活動への参加	3	参加しない	参加する
29	ネットワーク:政治的活動への参加	E026	政治的活動:ボイコットへの参加	3	参加しない	参加する
30	ネットワーク:政治的活動への参加	E027	政治的活動:平和的デモへの参加	3	参加しない	参加する

カナダといった北米諸国で高く、アゼルバイジャン、キルギスといった旧ソビエト連邦諸国、フィリピン、ベトナムといったアジア諸国で低かった。

1990年代から2000年代にかけての国民性の構成要素の測定値の変化では、以下のことが明らかにになる。

2000年代における「社会制度に対する信頼」では、1990年代に比べてその測定値が調査対象国の約90%の国で上昇していて、国民と社会的制度との関係が良好になってきていることを表している。その中で、台湾、イラク、ハンガリー、モルドバ、エジプトといった国の測定値は低下している。調査対象国の中でのランクでは、旧ソビエト連邦諸国を中心に20カ国において10位以上の変化が生じている。旧ソビ

エト連邦諸国の中で、キルギスは30位もランクを上げ、アゼルバイジャン、エストニアも、大きくランクを上げた。逆に、モルドバ、ウクライナは、大きくランクを下げている。その他、ハンガリー、ポーランドといった東欧諸国もランクを下げていて、特にイラクおよびエジプトは測定値の下落が大きく、ランクも40位ほどの低下となった。

2000年代における「命や性に対する規範」では、1990年代に比べてその測定値が調査対象国の約70%の国で上昇していて、命や性に対する規範が高まっていることが明らかになる。調査対象国の中でのランクでは、アルメニア、アゼルバイジャン、ベラルーシ、エストニアといった旧ソビエト連邦諸国が10位以上の上昇を示している。2000年代では、上位10位ま

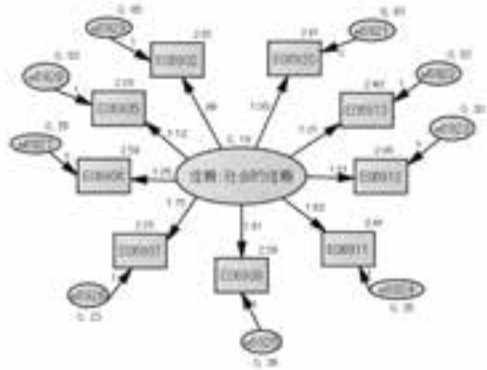
図表5 国民性の構成要素に関するパス図と分析結果

Panel A 信頼：社会的制度

(1) Wave 3&4

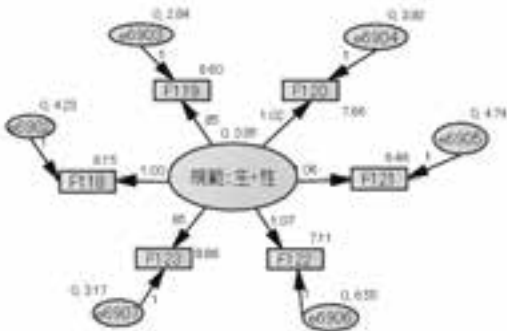


(2) Wave 5&6

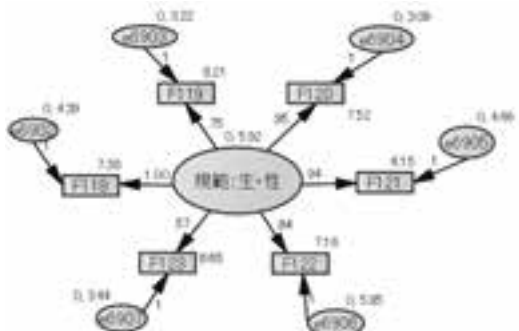


Panel B 規範：生・性

(1) Wave 3&4

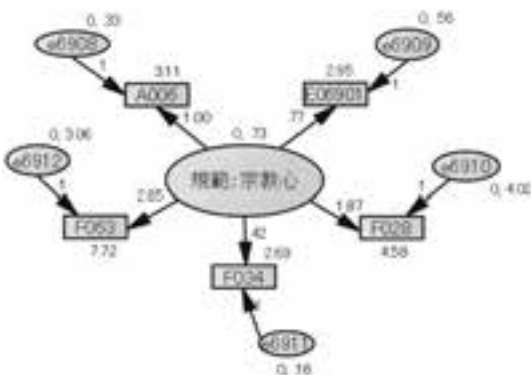


(2) Wave 5&6

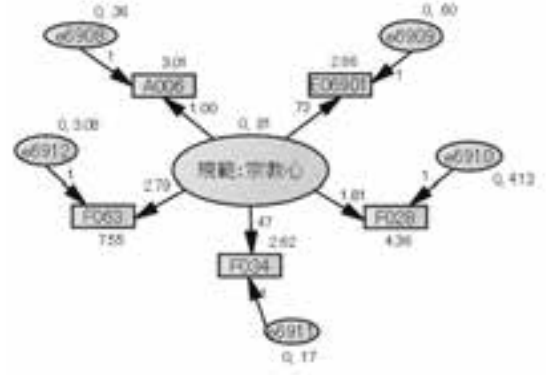


Panel C 規範：宗教心

(1) Wave 3&4

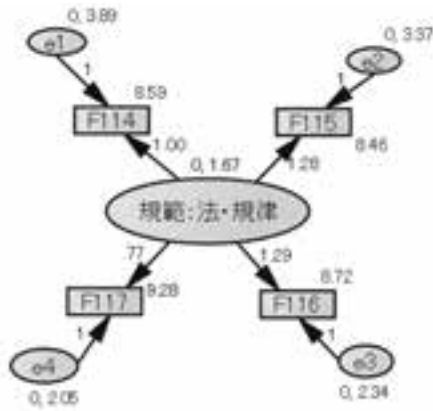


(2) Wave 5&6

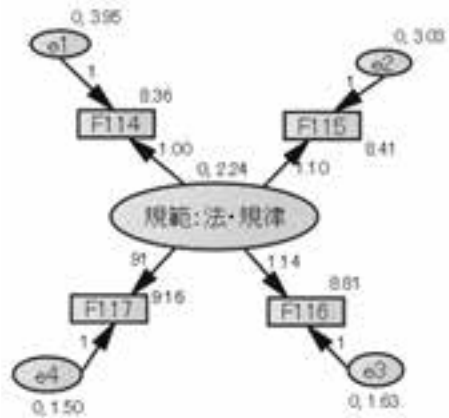


Panel D 規範：法・規律

(1) Wave 3&4

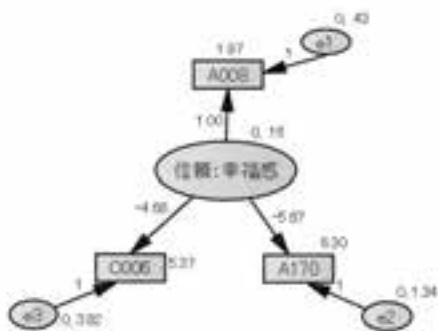


(2) Wave 5&6

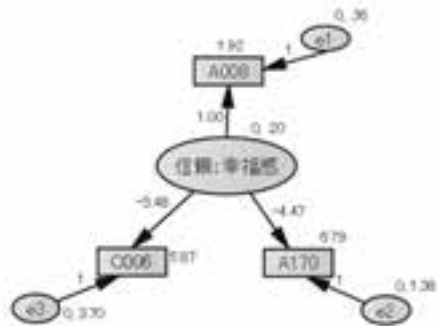


Panel E 信頼：幸福感

(1) Wave 3&4

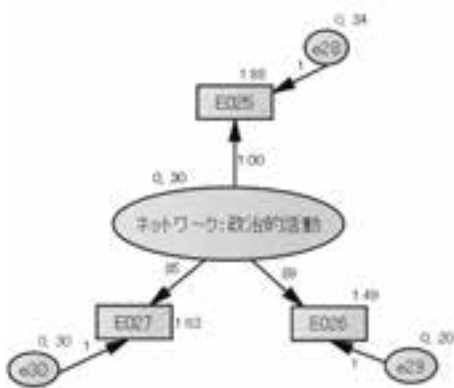


(2) Wave 5&6

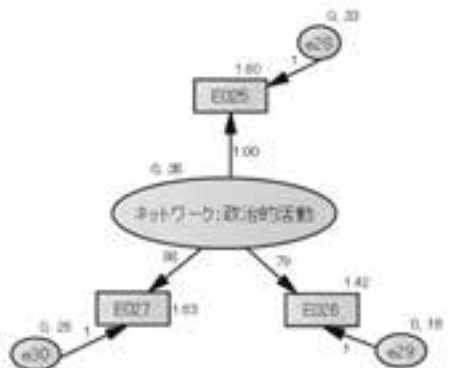


Panel F ネットワーク：政治的活動への参加

(1) Wave 3&4



(2) Wave 5&6



図表6 国民性の構成要素の測定値と変化

## Panel A 信頼:社会的制度

No.	Code	Country	Region	Factor		信頼:社会的制度				Scoreの変化			
				国民性	1990年代 <sup>1)</sup>	2000年代 <sup>2)</sup>	変化	Score	Rank	Score	Rank	+	-
16	704	Viet Nam	Asia	SE.Asia	4.737	1	5.193	1	0.456	0	+		
7	156	China	Asia	E.Asia	4.538	2	4.810	2	0.272	0	+		
15	702	Singapore	Asia	SE.Asia	---	---	4.703	3	---	---			
11	356	India	Asia	S.Asia	4.301	7	4.600	4	0.299	3	+		
21	246	Finland	Europe	Nordic	4.225	18	4.570	5	0.344	13	+		
14	608	Philippines	Asia	SE.Asia	4.395	4	4.569	6	0.174	-2	+		
23	578	Norway	Europe	Nordic	4.353	6	4.564	7	0.211	-1	+		
48	400	Jordan	M.E.		4.448	3	4.529	8	0.081	-5	+		
31	31	Azerbaijan	Europe	E.Europe (F)USSR	4.166	25	4.497	9	0.330	16	+		
35	417	Kyrgyzstan	Europe	E.Europe (F)USSR	4.053	40	4.495	10	0.443	30	+		
33	233	Estonia	Europe	E.Europe (F)USSR	4.176	23	4.488	11	0.312	12	+		
22	752	Sweden	Europe	Nordic	4.243	16	4.477	12	0.234	4	+		
49	792	Turkey	M.E.		4.263	12	4.474	13	0.211	-1	+		
6	716	Zimbabwe	Africa		4.369	5	4.468	14	0.099	-9	+		
32	112	Belarus	Europe	E.Europe (F)USSR	4.217	20	4.457	15	0.240	5	+		
13	360	Indonesia	Asia	SE.Asia	4.235	17	4.434	16	0.199	1	+		
17	756	Switzerland	Europe		4.125	32	4.432	17	0.307	15	+		
5	710	South Africa	Africa		4.280	10	4.424	18	0.145	-8	+		
50	124	Canada	N.America		4.244	15	4.419	19	0.175	-4	+		
4	566	Nigeria	Africa		4.255	13	4.401	20	0.147	-7	+		
53	554	New Zealand	Oceania		4.083	35	4.388	21	0.305	14	+		
52	36	Australia	Oceania		4.156	27	4.387	22	0.231	5	+		
9	410	South Korea	Asia	E.Asia	4.195	22	4.372	23	0.178	-1	+		
3	504	Morocco	Africa		3.978	47	4.372	24	0.394	23	+		
46	364	Iran	M.E.		4.043	42	4.361	25	0.318	17	+		
8	392	Japan	Asia	E.Asia	4.130	30	4.354	26	0.224	4	+		
20	826	United Kingdom	Europe		---	---	4.336	27	---	---			
51	840	United States	N.America		4.249	14	4.320	28	0.071	-14	+		
参考	250	France	Europe		---	---	4.291	29	---	---			
18	276	Germany	Europe		4.029	45	4.275	30	0.246	15	+		
34	268	Georgia	Europe	E.Europe (F)USSR	4.079	36	4.261	31	0.183	5	+		
10	158	Taiwan	Asia	E.Asia	4.280	11	4.260	32	-0.020	-21		-	
30	51	Armenia	Europe	E.Europe (F)USSR	4.070	37	4.259	33	0.189	4	+		
19	724	Spain	Europe		4.098	34	4.254	34	0.157	0	+		
40	76	Brazil	S.America		4.200	21	4.251	35	0.051	-14	+		
12	586	Pakistan	Asia	S.Asia	4.138	29	4.244	36	0.106	-7	+		
41	152	Chile	S.America		4.164	26	4.240	37	0.075	-11	+		
37	643	Russian Federation	Europe	E.Europe (F)USSR	4.045	41	4.236	38	0.192	3	+		
24	100	Bulgaria	Europe	E.Europe	4.221	19	4.236	39	0.015	-20	+		
42	170	Colombia	S.America		3.963	48	4.218	40	0.254	8	+		
27	642	Romania	Europe	E.Europe	4.069	38	4.202	41	0.133	-3	+		
45	858	Uruguay	S.America		4.061	39	4.200	42	0.139	-3	+		
38	804	Ukraine	Europe	E.Europe (F)USSR	4.139	28	4.192	43	0.053	-15	+		
26	616	Poland	Europe	E.Europe	4.171	24	4.192	44	0.021	-20	+		
43	484	Mexico	S.America		4.031	44	4.190	45	0.159	-1	+		
1	12	Algeria	Africa		4.037	43	4.178	46	0.141	-3	+		
47	368	Iraq	M.E.		4.288	8	4.126	47	-0.162	-39		-	
25	348	Hungary	Europe	E.Europe	4.116	33	4.108	48	-0.008	-15		-	
36	498	Moldova	Europe	E.Europe (F)USSR	4.127	31	4.062	49	-0.065	-18		-	
28	688	Serbia	Europe	E.Europe	3.963	49	4.055	50	0.092	-1	+		
29	705	Slovenia	Europe	E.Europe	4.024	46	4.054	51	0.029	-5	+		
2	818	Egypt	Africa		4.281	9	4.042	52	-0.239	-43		-	
44	604	Peru	S.America		3.933	50	3.939	53	0.006	-3	+		
39	32	Argentina	S.America		3.776	51	3.939	54	0.163	-3	+		
Average					4.172		4.341		0.163	Sum	46	5	51
St.Dev.					0.161		0.217		0.139	%	90.20	9.80	100

## Panel B 規範：生・性

No.	Code	Country	Region	Factor		規範：生・性				Scoreの変化		
				国民性	1990年代 <sup>1)</sup>		2000年代 <sup>2)</sup>		変化		+	-
					Score	Rank	Score	Rank	Score	Rank		
48	400	Jordan	M.E.	18.242	4	19.214	1	0.972	3	+		
12	586	Pakistan	Asia	18.434	1	19.034	2	0.600	-1	+		
13	360	Indonesia	Asia	18.350	3	18.992	3	0.642	0	+		
30	51	Armenia	Europe	16.379	27	18.840	4	2.461	23	+		
34	268	Georgia	Europe	17.059	12	18.786	5	1.726	7	+		
31	31	Azerbaijan	Europe	16.921	16	18.622	6	1.701	10	+		
2	818	Egypt	Africa	17.890	6	18.618	7	0.728	-1	+		
4	566	Nigeria	Africa	17.841	7	18.491	8	0.650	-1	+		
35	417	Kyrgyzstan	Europe	17.318	11	18.452	9	1.133	2	+		
46	364	Iran	M.E.	18.002	5	18.435	10	0.433	-5	+		
6	716	Zimbabwe	Africa	18.383	2	18.419	11	0.036	-9	+		
16	704	Viet Nam	Asia	17.601	9	18.401	12	0.800	-3	+		
49	792	Turkey	M.E.	---	---	18.378	13	---	---			
47	368	Iraq	M.E.	15.893	35	18.273	14	2.380	21	+		
3	504	Morocco	Africa	17.580	10	18.214	15	0.634	-5	+		
11	356	India	Asia	16.951	14	18.071	16	1.120	-2	+		
7	156	China	Asia	16.740	21	18.047	17	1.307	4	+		
27	642	Romania	Europe	16.244	30	17.920	18	1.677	12	+		
42	170	Colombia	S.America	16.843	19	17.751	19	0.908	0	+		
1	12	Algeria	Africa	17.758	8	17.414	20	-0.343	-12		-	
32	112	Belarus	Europe	15.901	34	17.408	21	1.508	13	+		
36	498	Moldova	Europe	16.777	20	17.399	22	0.622	-2	+		
44	604	Peru	S.America	16.913	17	17.344	23	0.431	-6	+		
26	616	Poland	Europe	16.628	23	17.153	24	0.524	-1	+		
40	76	Brazil	S.America	16.936	15	17.078	25	0.142	-10	+		
38	804	Ukraine	Europe	16.376	28	16.936	26	0.560	2	+		
33	233	Estonia	Europe	15.615	38	16.862	27	1.247	11	+		
14	608	Philippines	Asia	16.580	24	16.735	28	0.155	-4	+		
15	702	Singapore	Asia	17.008	13	16.734	29	-0.274	-16		-	
9	410	South Korea	Asia	16.372	29	16.733	30	0.362	-1	+		
43	484	Mexico	S.America	16.547	25	16.681	31	0.134	-6	+		
37	643	Russian Federation	Europe	16.148	31	16.621	32	0.473	-1	+		
5	710	South Africa	Africa	16.912	18	16.476	33	-0.436	-15		-	
10	158	Taiwan	Asia	16.694	22	16.360	34	-0.334	-12		-	
25	348	Hungary	Europe	15.201	41	16.213	35	1.012	6	+		
41	152	Chile	S.America	16.473	26	16.188	36	-0.285	-10		-	
39	32	Argentina	S.America	15.977	33	15.859	37	-0.118	-4		-	
8	392	Japan	Asia	15.378	40	15.807	38	0.428	2	+		
51	840	United States	N.America	15.723	37	15.752	39	0.029	-2	+		
24	100	Bulgaria	Europe	15.785	36	15.727	40	-0.058	-4		-	
50	124	Canada	N.America	15.026	42	15.624	41	0.599	1	+		
28	688	Serbia	Europe	16.130	32	15.269	42	-0.861	-10		-	
45	858	Uruguay	S.America	15.473	39	15.239	43	-0.234	-4		-	
21	246	Finland	Europe	14.825	45	15.110	44	0.286	1	+		
18	276	Germany	Europe	14.002	50	15.104	45	1.102	5	+		
53	554	New Zealand	Oceania	14.667	48	14.982	46	0.314	2	+		
20	826	United Kingdom	Europe	13.535	51	14.921	47	1.386	4	+		
29	705	Slovenia	Europe	14.995	43	14.681	48	-0.313	-5		-	
19	724	Spain	Europe	14.732	47	14.640	49	-0.092	-2		-	
参考	250	France	Europe	---	---	14.465	50	---	---			
52	36	Australia	Oceania	14.810	46	14.421	51	-0.388	-5		-	
23	578	Norway	Europe	14.973	44	14.272	52	-0.702	-8		-	
17	756	Switzerland	Europe	14.080	49	13.968	53	-0.112	-4		-	
22	752	Sweden	Europe	13.301	52	13.506	54	0.205	-2	+		
				Average	16.287	16.790	0.517	Sum	38	14	52	
				St.Dev.	1.261	1.547	0.741	%	73.08	26.92	100	

## Panel C 規範：宗教心

No.	Code	Country	Region	Factor		規範：宗教心				Scoreの変化				
				国民性	1990年代 <sup>1)</sup>		2000年代 <sup>2)</sup>		変化		+	-		
					Score	Rank	Score	Rank	Score	Rank				
3	504	Morocco	Africa		8.353	11	8.598	1	0.245	10	+			
4	566	Nigeria	Africa		8.787	2	8.542	2	-0.244	0		-		
13	360	Indonesia	Asia	SE.Asia	8.709	3	8.444	3	-0.265	0		-		
6	716	Zimbabwe	Africa		8.554	6	8.437	4	-0.117	2		-		
14	608	Philippines	Asia	SE.Asia	8.588	5	8.429	5	-0.159	0		-		
12	586	Pakistan	Asia	S.Asia	8.700	4	8.421	6	-0.278	-2		-		
48	400	Jordan	M.E.		8.453	9	8.322	7	-0.131	2		-		
34	268	Georgia	Europe	E.Europe (F)USSR	8.036	24	8.241	8	0.205	16	+			
2	818	Egypt	Africa		8.497	8	8.213	9	-0.284	-1		-		
11	356	India	Asia	S.Asia	8.128	20	8.190	10	0.062	10	+			
1	12	Algeria	Africa		8.149	19	8.128	11	-0.021	8		-		
42	170	Colombia	S.America		8.341	12	8.110	12	-0.231	0		-		
46	364	Iran	M.E.		8.515	7	8.107	13	-0.408	-6		-		
5	710	South Africa	Africa		8.405	10	8.087	14	-0.317	-4		-		
27	642	Romania	Europe	E.Europe	8.077	21	8.084	15	0.007	6	+			
40	76	Brazil	S.America		8.329	13	8.050	16	-0.280	-3		-		
47	368	Iraq	M.E.		8.294	14	8.019	17	-0.275	-3		-		
43	484	Mexico	S.America		8.215	16	7.983	18	-0.233	-2		-		
26	616	Poland	Europe	E.Europe	7.629	31	7.970	19	0.341	12	+			
30	51	Armenia	Europe	E.Europe (F)USSR	7.710	30	7.957	20	0.247	10	+			
49	792	Turkey	M.E.		8.076	22	7.943	21	-0.132	1		-		
44	604	Peru	S.America		8.293	15	7.903	22	-0.390	-7		-		
36	498	Moldova	Europe	E.Europe (F)USSR	7.955	25	7.732	23	-0.223	2		-		
35	417	Kyrgyzstan	Europe	E.Europe (F)USSR	7.825	28	7.704	24	-0.121	4		-		
51	840	United States	N.America		8.176	17	7.613	25	-0.563	-8		-		
15	702	Singapore	Asia	SE.Asia	8.172	18	7.598	26	-0.574	-8		-		
28	688	Serbia	Europe	E.Europe	7.452	35	7.574	27	0.122	8	+			
38	804	Ukraine	Europe	E.Europe (F)USSR	7.479	34	7.562	28	0.083	6	+			
41	152	Chile	S.America		8.046	23	7.516	29	-0.530	-6		-		
50	124	Canada	N.America		7.768	29	7.484	30	-0.284	-1		-		
39	32	Argentina	S.America		7.885	27	7.400	31	-0.486	-4		-		
32	112	Belarus	Europe	E.Europe (F)USSR	7.540	32	7.391	32	-0.149	0		-		
31	31	Azerbaijan	Europe	E.Europe (F)USSR	7.954	26	7.305	33	-0.649	-7		-		
24	100	Bulgaria	Europe	E.Europe	7.233	43	7.227	34	-0.006	9		-		
37	643	Russian Federation	Europe	E.Europe (F)USSR	7.275	42	7.219	35	-0.056	7		-		
21	246	Finland	Europe	Nordic	7.329	38	7.195	36	-0.134	2		-		
17	756	Switzerland	Europe		7.328	39	7.149	37	-0.179	2		-		
9	410	South Korea	Asia	E.Asia	7.103	47	7.043	38	-0.060	9		-		
10	158	Taiwan	Asia	E.Asia	7.420	36	7.017	39	-0.404	-3		-		
45	858	Uruguay	S.America		7.338	37	6.994	40	-0.344	-3		-		
29	705	Slovenia	Europe	E.Europe	7.322	40	6.994	41	-0.328	-1		-		
25	348	Hungary	Europe	E.Europe	7.169	45	6.969	42	-0.200	3		-		
20	826	United Kingdom	Europe		9.569	1	6.964	43	-2.605	-42		-		
53	554	New Zealand	Oceania		7.174	44	6.880	44	-0.293	0		-		
52	36	Australia	Oceania		7.291	41	6.865	45	-0.425	-4		-		
16	704	Viet Nam	Asia	SE.Asia	6.933	49	6.848	46	-0.085	3		-		
23	578	Norway	Europe	Nordic	7.121	46	6.778	47	-0.343	-1		-		
19	724	Spain	Europe		7.483	33	6.777	48	-0.706	-15		-		
33	233	Estonia	Europe	E.Europe (F)USSR	7.001	48	6.775	49	-0.226	-1		-		
参考	250	France	Europe		---	---	6.746	50	---	---		-		
18	276	Germany	Europe		6.824	51	6.732	51	-0.092	0		-		
22	752	Sweden	Europe	Nordic	6.904	50	6.597	52	-0.306	-2		-		
8	392	Japan	Asia	E.Asia	6.799	52	6.564	53	-0.235	-1		-		
7	156	China	Asia	E.Asia	6.269	53	6.267	54	-0.002	-1		-		
				Average	7.811		7.549		-0.247		Sum	8	45	53
				St.Dev.	0.645		0.622		0.398		%	15.09	84.91	100



## Panel D 規範：法・規律

No.	Code	Country	Region	Factor		規範：法・規律									
				国民性		1990年代 <sup>1)</sup>		2000年代 <sup>2)</sup>		変化		Scoreの変化			
				Score	Rank	Score	Rank	Score	Rank	+	-				
31	31	Azerbaijan	Europe	E.Europe	(F)USSR	16.546	44	17.967	1	1.421	43	+			
49	792	Turkey	M.E.			---	---	17.895	2	---	---				
34	268	Georgia	Europe	E.Europe	(F)USSR	17.013	38	17.825	3	0.813	35	+			
8	392	Japan	Asia	E.Asia		17.753	9	17.824	4	0.071	5	+			
13	360	Indonesia	Asia	SE.Asia		17.373	28	17.734	5	0.361	23	+			
17	756	Switzerland	Europe			17.322	31	17.684	6	0.362	25	+			
3	504	Morocco	Africa			17.954	5	17.666	7	-0.288	-2	-			
48	400	Jordan	M.E.			18.053	3	17.653	8	-0.400	-5	-			
30	51	Armenia	Europe	E.Europe	(F)USSR	16.438	46	17.636	9	1.198	37	+			
52	36	Australia	Oceania			17.717	11	17.610	10	-0.107	1	-			
27	642	Romania	Europe	E.Europe		17.418	27	17.590	11	0.171	16	+			
50	124	Canada	N.America			17.579	16	17.570	12	-0.009	4	-			
53	554	New Zealand	Oceania			17.587	15	17.561	13	-0.025	2	-			
12	586	Pakistan	Asia	S.Asia		18.142	2	17.561	14	-0.581	-12	-			
2	818	Egypt	Africa			17.918	7	17.553	15	-0.365	-8	-			
16	704	Viet Nam	Asia	SE.Asia		17.961	4	17.516	16	-0.445	-12	-			
18	276	Germany	Europe			17.018	36	17.484	17	0.467	19	+			
21	246	Finland	Europe	Nordic		17.466	23	17.420	18	-0.047	5	-			
23	578	Norway	Europe	Nordic		17.638	14	17.411	19	-0.227	-5	-			
19	724	Spain	Europe			17.577	17	17.403	20	-0.174	-3	-			
51	840	United States	N.America			17.664	12	17.397	21	-0.267	-9	-			
45	858	Uruguay	S.America			17.727	10	17.386	22	-0.341	-12	-			
20	826	United Kingdom	Europe			---	---	17.326	23	---	---				
42	170	Colombia	S.America			17.334	29	17.316	24	-0.018	5	-			
26	616	Poland	Europe	E.Europe		17.495	21	17.285	25	-0.211	-4	-			
10	158	Taiwan	Asia	E.Asia		17.496	20	17.261	26	-0.235	-6	-			
24	100	Bulgaria	Europe	E.Europe		17.461	24	17.253	27	-0.208	-3	-			
25	348	Hungary	Europe	E.Europe		16.283	48	17.239	28	0.956	20	+			
9	410	South Korea	Asia	E.Asia		17.537	19	17.216	29	-0.321	-10	-			
22	752	Sweden	Europe	Nordic		17.194	34	17.212	30	0.018	4	+			
11	356	India	Asia	S.Asia		17.563	18	17.199	31	-0.365	-13	-			
4	566	Nigeria	Africa			17.444	26	17.165	32	-0.279	-6	-			
29	705	Slovenia	Europe	E.Europe		16.851	42	17.134	33	0.283	9	+			
47	368	Iraq	M.E.			21.943	1	17.117	34	-4.826	-33	-			
39	32	Argentina	S.America			17.489	22	17.072	35	-0.417	-13	-			
33	233	Estonia	Europe	E.Europe	(F)USSR	17.103	35	17.026	36	-0.077	-1	-			
6	716	Zimbabwe	Africa			17.946	6	17.023	37	-0.923	-31	-			
7	156	China	Asia	E.Asia		17.808	8	16.995	38	-0.813	-30	-			
46	364	Iran	M.E.			17.654	13	16.918	39	-0.735	-26	-			
41	152	Chile	S.America			16.916	40	16.830	40	-0.086	0	-			
40	76	Brazil	S.America			15.973	51	16.773	41	0.801	10	+			
44	604	Peru	S.America			17.016	37	16.744	42	-0.272	-5	-			
35	417	Kyrgyzstan	Europe	E.Europe	(F)USSR	16.977	39	16.728	43	-0.249	-4	-			
参考	250	France	Europe			---	---	16.709	44	---	---				
15	702	Singapore	Asia	SE.Asia		17.242	33	16.660	45	-0.582	-12	-			
38	804	Ukraine	Europe	E.Europe	(F)USSR	16.428	47	16.579	46	0.150	1	+			
32	112	Belarus	Europe	E.Europe	(F)USSR	16.450	45	16.547	47	0.097	-2	+			
37	643	Russian Federation	Europe	E.Europe	(F)USSR	16.885	41	16.529	48	-0.357	-7	-			
36	498	Moldova	Europe	E.Europe	(F)USSR	16.106	50	16.378	49	0.272	1	+			
43	484	Mexico	S.America			16.579	43	16.165	50	-0.414	-7	-			
5	710	South Africa	Africa			17.331	30	15.981	51	-1.349	-21	-			
1	12	Algeria	Africa			17.270	32	15.796	52	-1.474	-20	-			
14	608	Philippines	Asia	SE.Asia		16.123	49	15.348	53	-0.774	-4	-			
28	688	Serbia	Europe	E.Europe		17.452	25	14.840	54	-2.612	-29	-			
					Average	17.357		17.106		-0.263		Sum	15	36	51
					St.Dev.	0.848		0.626		0.919		%	29.41	70.59	100

## Panel E 信頼：幸福感

No.	Code	Country	Region	Factor		信頼：幸福感				Scoreの変化			
				国民性	1990年代 <sup>1)</sup>	2000年代 <sup>2)</sup>	変化	Score	Rank	Score	Rank	+	-
43	484	Mexico	S.America		8.132	4	8.803	1	0.671	3		+	
42	170	Colombia	S.America		8.332	2	8.763	2	0.431	0		+	
17	756	Switzerland	Europe		8.187	3	8.710	3	0.524	0		+	
23	578	Norway	Europe	Nordic	8.030	7	8.707	4	0.677	3		+	
21	246	Finland	Europe	Nordic	8.069	6	8.644	5	0.575	1		+	
50	124	Canada	N.America		8.095	5	8.593	6	0.499	-1		+	
53	554	New Zealand	Oceania		8.023	9	8.591	7	0.568	2		+	
22	752	Sweden	Europe	Nordic	8.029	8	8.577	8	0.548	0		+	
40	76	Brazil	S.America		7.785	14	8.515	9	0.730	5		+	
39	32	Argentina	S.America		7.755	18	8.507	10	0.751	8		+	
20	826	United Kingdom	Europe		8.604	1	8.498	11	-0.106	-10		-	
12	586	Pakistan	Asia	S.Asia	6.908	45	8.490	12	1.582	33		+	
45	858	Uruguay	S.America		7.869	13	8.484	13	0.615	0		+	
52	36	Australia	Oceania		7.974	11	8.422	14	0.448	-3		+	
51	840	United States	N.America		8.011	10	8.405	15	0.394	-5		+	
49	792	Turkey	M.E.		7.313	37	8.399	16	1.085	21		+	
29	705	Slovenia	Europe	E.Europe	7.557	28	8.397	17	0.840	11		+	
14	608	Philippines	Asia	SE.Asia	7.665	21	8.395	18	0.730	3		+	
18	276	Germany	Europe		7.765	16	8.354	19	0.589	-3		+	
41	152	Chile	S.America		7.758	17	8.349	20	0.591	-3		+	
16	704	Viet Nam	Asia	SE.Asia	7.584	25	8.332	21	0.748	4		+	
44	604	Peru	S.America		7.515	29	8.288	22	0.773	7		+	
15	702	Singapore	Asia	SE.Asia	7.880	12	8.288	23	0.408	-11		+	
35	417	Kyrgyzstan	Europe	E.Europe (F)USSR	7.575	26	8.281	24	0.706	2		+	
19	724	Spain	Europe		7.697	19	8.267	25	0.570	-6		+	
13	360	Indonesia	Asia	SE.Asia	7.782	15	8.256	26	0.474	-11		+	
8	392	Japan	Asia	E.Asia	7.625	23	8.252	27	0.627	-4		+	
5	710	South Africa	Africa		7.419	32	8.250	28	0.830	4		+	
48	400	Jordan	M.E.		7.239	38	8.232	29	0.993	9		+	
26	616	Poland	Europe	E.Europe	7.463	31	8.230	30	0.766	1		+	
7	156	China	Asia	E.Asia	7.672	20	8.228	31	0.555	-11		+	
参考	250	France	Europe		---	---	8.223	32	---	---			
10	158	Taiwan	Asia	E.Asia	7.622	24	8.222	33	0.600	-9		+	
31	31	Azerbaijan	Europe	E.Europe (F)USSR	7.141	42	8.153	34	1.011	8		+	
46	364	Iran	M.E.		7.558	27	8.094	35	0.536	-8		+	
9	410	South Korea	Asia	E.Asia	7.493	30	8.092	36	0.599	-6		+	
1	12	Algeria	Africa		7.327	35	8.051	37	0.724	-2		+	
11	356	India	Asia	S.Asia	7.349	33	8.005	38	0.656	-5		+	
4	566	Nigeria	Africa		7.658	22	7.976	39	0.318	-17		+	
27	642	Romania	Europe	E.Europe	6.932	44	7.959	40	1.027	4		+	
33	233	Estonia	Europe	E.Europe (F)USSR	6.979	43	7.958	41	0.979	2		+	
37	643	Russian Federation	Europe	E.Europe (F)USSR	6.761	48	7.890	42	1.129	6		+	
28	688	Serbia	Europe	E.Europe	7.166	40	7.858	43	0.692	-3		+	
6	716	Zimbabwe	Africa		6.571	53	7.833	44	1.262	9		+	
25	348	Hungary	Europe	E.Europe	7.323	36	7.808	45	0.484	-9		+	
32	112	Belarus	Europe	E.Europe (F)USSR	6.728	50	7.784	46	1.056	4		+	
38	804	Ukraine	Europe	E.Europe (F)USSR	6.577	52	7.781	47	1.204	5		+	
3	504	Morocco	Africa		7.341	34	7.745	48	0.405	-14		+	
2	818	Egypt	Africa		7.169	39	7.712	49	0.544	-10		+	
36	498	Moldova	Europe	E.Europe (F)USSR	6.678	51	7.690	50	1.012	1		+	
47	368	Iraq	M.E.		7.160	41	7.530	51	0.370	-10		+	
24	100	Bulgaria	Europe	E.Europe	6.850	46	7.528	52	0.678	-6		+	
30	51	Armenia	Europe	E.Europe (F)USSR	6.736	49	7.519	53	0.784	-4		+	
34	268	Georgia	Europe	E.Europe (F)USSR	6.808	47	7.487	54	0.679	-7		+	
				Average	7.495		8.193		0.697	Sum	52	1	53
				St.Dev.	0.485		0.344		0.278	%	98.11	1.89	100

## Panel F ネットワーク：政治的活動への参加

No.	Code	Country	Region	Factor ネットワーク：政治的活動への参加								Scoreの変化		
				国民性		1990年代 <sup>1)</sup>		2000年代 <sup>2)</sup>		変化		+	-	
				Score	Rank	Score	Rank	Score	Rank	Score	Rank			
22	752	Sweden	Europe	Nordic	4.171	2	4.131	1	-0.040	1				
53	554	New Zealand	Oceania		4.120	3	4.088	2	-0.032	1				
23	578	Norway	Europe	Nordic	4.035	4	4.059	3	0.024	1	+			
17	756	Switzerland	Europe		3.774	11	4.028	4	0.254	7	+			
52	36	Australia	Oceania		3.967	7	4.027	5	0.060	2	+			
51	840	United States	N.America		3.984	5	3.986	6	0.001	-1	+			
50	124	Canada	N.America		3.929	8	3.978	7	0.050	1	+			
参考	250	France	Europe		---	---	3.972	8	---	---				
20	826	United Kingdom	Europe		4.372	1	3.880	9	-0.492	-8				
18	276	Germany	Europe		3.976	6	3.788	10	-0.189	-4				
21	246	Finland	Europe	Nordic	3.710	12	3.753	11	0.043	1	+			
9	410	South Korea	Asia	E.Asia	3.824	9	3.671	12	-0.153	-3				
28	688	Serbia	Europe	E.Europe	3.530	16	3.668	13	0.138	3	+			
19	724	Spain	Europe		3.497	20	3.645	14	0.148	6	+			
40	76	Brazil	S.America		3.691	13	3.609	15	-0.082	-2				
8	392	Japan	Asia	E.Asia	3.801	10	3.570	16	-0.231	-6				
29	705	Slovenia	Europe	E.Europe	3.550	15	3.546	17	-0.004	-2				
11	356	India	Asia	S.Asia	3.609	14	3.465	18	-0.145	-4				
44	604	Peru	S.America		3.516	17	3.463	19	-0.052	-2				
39	32	Argentina	S.America		3.314	35	3.457	20	0.143	15	+			
42	170	Colombia	S.America		3.472	23	3.435	21	-0.036	2				
5	710	South Africa	Africa		3.480	22	3.418	22	-0.062	0				
26	616	Poland	Europe	E.Europe	3.373	29	3.416	23	0.043	6	+			
43	484	Mexico	S.America		3.385	27	3.354	24	-0.031	3				
1	12	Algeria	Africa		3.404	26	3.354	25	-0.051	1				
47	368	Iraq	M.E.		---	---	3.352	26	---	---				
36	498	Moldova	Europe	E.Europe (F)USSR	3.260	40	3.320	27	0.060	13	+			
6	716	Zimbabwe	Africa		3.247	41	3.314	28	0.067	13	+			
12	586	Pakistan	Asia	S.Asia	3.016	49	3.312	29	0.296	20	+			
45	858	Uruguay	S.America		3.323	33	3.299	30	-0.024	3				
41	152	Chile	S.America		3.289	38	3.299	31	0.010	7	+			
33	233	Estonia	Europe	E.Europe (F)USSR	3.453	25	3.279	32	-0.174	-7				
4	566	Nigeria	Africa		3.338	32	3.271	33	-0.067	-1				
49	792	Turkey	M.E.		3.381	28	3.268	34	-0.113	-6				
7	156	China	Asia	E.Asia	---	---	3.239	35	---	---				
24	100	Bulgaria	Europe	E.Europe	3.303	36	3.239	36	-0.064	0				
13	360	Indonesia	Asia	SE.Asia	3.154	46	3.226	37	0.072	9	+			
34	268	Georgia	Europe	E.Europe (F)USSR	3.192	44	3.201	38	0.010	6	+			
37	643	Russian Federation	Europe	E.Europe (F)USSR	3.350	30	3.186	39	-0.164	-9				
3	504	Morocco	Africa		3.320	34	3.178	40	-0.142	-6				
27	642	Romania	Europe	E.Europe	3.471	24	3.169	41	-0.303	-17				
10	158	Taiwan	Asia	E.Asia	3.260	39	3.161	42	-0.100	-3				
38	804	Ukraine	Europe	E.Europe (F)USSR	3.342	31	3.126	43	-0.216	-12				
14	608	Philippines	Asia	SE.Asia	3.121	48	3.085	44	-0.037	4				
25	348	Hungary	Europe	E.Europe	3.499	19	3.067	45	-0.433	-26				
30	51	Armenia	Europe	E.Europe (F)USSR	3.515	18	3.019	46	-0.495	-28				
35	417	Kyrgyzstan	Europe	E.Europe (F)USSR	3.216	42	2.999	47	-0.217	-5				
16	704	Viet Nam	Asia	SE.Asia	3.182	45	2.992	48	-0.190	-3				
48	400	Jordan	M.E.		2.935	50	2.932	49	-0.003	1				
2	818	Egypt	Africa		3.486	21	2.897	50	-0.589	-29				
31	31	Azerbaijan	Europe	E.Europe (F)USSR	3.195	43	2.862	51	-0.333	-8				
15	702	Singapore	Asia	SE.Asia	3.137	47	---	---	---	---				
32	112	Belarus	Europe	E.Europe (F)USSR	3.295	37	---	---	---	---				
46	364	Iran	M.E.		---	---	---	---	---	---				
					Average	3.495	3.432		-0.080	Sum	16	32	48	
					St.Dev.	0.318	0.345		0.182	%	33.33	66.67	100	

1) 国民性(1990年代)は、1995年から2004年までのWave3&amp;4の質問への回答から測定

2) 国民性(2000年代)は、2005年から2014年までのWave5&amp;6の質問への回答から測定

Abbreviation

図表2に同じ。

でに4カ国が旧ソビエト連邦諸国である。一方、アルジェリア、南アフリカといったアフリカ諸国、ブラジル、チリといった南米諸国、シンガポール、台湾といったアジア諸国の測定値は低下していて、ランクも10位以上の下落を示している。

2000年代における「宗教への意識（信心深さ）」では、1990年代に比べてその測定値が調査対象国の約85%の国で下落していて、宗教への意識が低下していることが明らかになる。調査対象国の中でのランクでは、上位10カ国および下位10カ国に含まれる国に大きな変化はなく、測定値が上昇して、ランクも上昇したのは、ジョージア、アルメニア、ウクライナといった旧ソビエト連邦諸国を含めて、ルーマニア、ポーランド、セルビアといった東欧諸国であった。一方、イギリスの測定値は、最も大きく下落して、ランクも40位以上低下した。

2000年代における「規律を遵守するという規範」では、1990年代に比べてその測定値が調査対象国の約70%の国で下落していて、法や規律への規範が低下していることが明らかになる。調査対象国の中でのランクでは、23カ国において10位以上の変化が生じている。1990年代の「規律を遵守するという規範」の測定値では、旧ソビエト連邦諸国が全体的に下位に位置付けられていたが、2000年代ではアゼルバイジャンが最も高い測定値となり、ジョージア、アルメニアのランクは大きく上昇して、上位10位に入っている。そのほか、ルーマニア、ハンガリーといった東欧諸国を含めて、スイス、ドイツといったヨーロッパ諸国が、大きくランクを上げている。一方、パキスタン、ベトナム、韓国、インド、シンガポール、フィリピンといったアジア諸国、ジンバブエ、南アフリカ、アルジェリアといったアフリカ諸国で測定値が下落して、ランクも大きく低下している。

2000年代における「社会への信頼（安心感）から感じる幸福感」では、1990年代に比べてその測定値がイギリスを除いてすべての国で上昇していて、世界的に幸福感が高まっていることが明らかになる。パキスタンは、測定値において最も大きく上昇し、ランクも45位から12位へと上昇している。旧ソビエト連邦諸国は、1990年代および2000年代ともに低い測定値で

あることに変わりはなく、アルメニア、ジョージアの測定値は上昇したが、ランクは下落している。

2000年代における「政治的活動への参加といった意欲」では、1990年代に比べてその測定値が調査対象国の約65%の国で低下していて、積極的に政治的活動に参加する意欲が低下していることが明らかになる。測定値が比較的大きく増加したのは、スイス、セルビア、スペインといったヨーロッパ諸国とアルゼンチン、パキスタンといった国である。一方、エジプトの測定値は大きく下落して、1990年代の21位から2000年代には50位にまでランクを下げた。それ以外にも、ウクライナ、キルギスといった旧ソビエト連邦諸国を含めて、ルーマニア、ハンガリーといった東欧諸国の測定値が大きく下落して、ランクも大きく低下している。

図表7（参考文献の後に掲載）は、国別に国民性の構成要素のバランスとその変化について図示したものである。図表7では、国民性の構成要素のバランスや数値が、アフリカ諸国、旧ソビエト連邦諸国を含めた東欧諸国を中心に多くの国で変動していることが理解できる。

そこで、時代とともに国民性が変化するかについて、Wave3&4とWave5&6における質問への回答についての母平均の差の検定を行った。分析結果は、付表で掲示しているが付表をもとに、Wave3&4とWave5&6における質問への回答の差が統計的に有意となった数および割合を、国別および地域別にまとめたものが図表8である。Wave3&4とWave5&6における各質問への回答に関する母平均の差の検定の結果、Wave3&4とWave5&6の間の質問への回答では、82.91%で統計的に有意な差が認められた。その中でも、多くの国において、質問への回答における差が、1%水準で統計的に有意となっている。一方で、カナダ、ニュージーランド、インドネシア、日本などでは、質問への回答の差が有意となる割合が低かった。ここから、国民性の構成要素の測定値は、一部の国や地域で程度の差があるものの、多くの国および地域で、時代の変化とともに変化していることが明らかになる。

図表8 1990年代と2000年代の質問への回答に関する母平均の差の検定結果

## Panel A 国別

Region	No.	Code	Country	No. Ques.	Sig. 10%	Sig. 5%	Sig. 1%	Total	Sig. (%)			
									Sig. 10%	Sig. 5%	Sig. 1%	Total
Africa	1	12	Algeria	29	0	0	21	21	0.00	0.00	72.41	72.41
	2	818	Egypt	26	0	1	25	26	0.00	3.85	96.15	100.00
	3	504	Morocco	27	1	0	21	22	3.70	0.00	77.78	81.48
	4	566	Nigeria	29	0	1	23	24	0.00	3.45	79.31	82.76
	5	710	South Africa	30	0	1	25	26	0.00	3.33	83.33	86.67
	6	716	Zimbabwe	29	0	0	24	24	0.00	0.00	82.76	82.76
E.Asia	7	156	China	25	2	4	16	22	8.00	16.00	64.00	88.00
	8	392	Japan	30	0	6	15	21	0.00	20.00	50.00	70.00
	9	410	South Korea	29	2	1	22	25	6.90	3.45	75.86	86.21
	10	158	Taiwan	30	1	2	22	25	3.33	6.67	73.33	83.33
S.Asia	11	356	India	30	0	0	26	26	0.00	0.00	86.67	86.67
	12	586	Pakistan	30	0	1	28	29	0.00	3.33	93.33	96.67
SE.Asia	13	360	Indonesia	30	0	3	17	20	0.00	10.00	56.67	66.67
	14	608	Philippines	30	1	0	22	23	3.33	0.00	73.33	76.67
	15	702	Singapore	15	0	0	14	14	0.00	0.00	93.33	93.33
	16	704	Viet Nam	30	1	3	25	29	3.33	10.00	83.33	96.67
Europe	17	756	Switzerland	30	1	2	21	24	3.33	6.67	70.00	80.00
	参考	250	France	---	---	---	---	---	---	---	---	---
	18	276	Germany	29	1	1	22	24	3.45	3.45	75.86	82.76
	19	724	Spain	30	1	0	23	24	3.33	0.00	76.67	80.00
	20	826	United Kingdom	8	0	2	5	7	0.00	25.00	62.50	87.50
Europe: Nordic	21	246	Finland	30	3	2	16	21	10.00	6.67	53.33	70.00
	22	752	Sweden	30	3	4	17	24	10.00	13.33	56.67	80.00
	23	578	Norway	30	1	3	21	25	3.33	10.00	70.00	83.33
Europe: E.Europe	24	100	Bulgaria	30	1	0	21	22	3.33	0.00	70.00	73.33
	25	348	Hungary	30	1	2	22	25	3.33	6.67	73.33	83.33
	26	616	Poland	29	1	2	18	21	3.45	6.90	62.07	72.41
	27	642	Romania	30	0	3	23	26	0.00	10.00	76.67	86.67
	28	688	Serbia	30	2	1	24	27	6.67	3.33	80.00	90.00
	29	705	Slovenia	30	0	1	23	24	0.00	3.33	76.67	80.00
	30	51	Armenia	30	0	1	25	26	0.00	3.33	83.33	86.67
Europe: (F)USSR	31	31	Azerbaijan	30	0	0	30	30	0.00	0.00	100.00	100.00
	32	112	Belarus	26	0	0	22	22	0.00	0.00	84.62	84.62
	33	233	Estonia	29	2	4	16	22	6.90	13.79	55.17	75.86
	34	268	Georgia	30	0	0	29	29	0.00	0.00	96.67	96.67
	35	417	Kyrgyzstan	29	3	1	24	28	10.34	3.45	82.76	96.55
	36	498	Moldova	30	0	3	20	23	0.00	10.00	66.67	76.67
	37	643	Russian Federation	30	0	0	22	22	0.00	0.00	73.33	73.33
	38	804	Ukraine	30	1	0	25	26	3.33	0.00	83.33	86.67
S.America	39	32	Argentina	30	2	2	23	27	6.67	6.67	76.67	90.00
	40	76	Brazil	30	0	1	22	23	0.00	3.33	73.33	76.67
	41	152	Chile	30	2	1	24	27	6.67	3.33	80.00	90.00
	42	170	Colombia	29	0	4	20	24	0.00	13.79	68.97	82.76
	43	484	Mexico	30	1	0	25	26	3.33	0.00	83.33	86.67
	44	604	Peru	30	1	0	28	29	3.33	0.00	93.33	96.67
	45	858	Uruguay	30	3	1	21	25	10.00	3.33	70.00	83.33
M.E.	46	364	Iran	26	1	1	21	23	3.85	3.85	80.77	88.46
	47	368	Iraq	14	1	1	10	12	7.14	7.14	71.43	85.71
	48	400	Jordan	30	3	1	23	27	10.00	3.33	76.67	90.00
	49	792	Turkey	20	1	3	16	20	5.00	15.00	80.00	100.00
N.America	50	124	Canada	30	3	2	8	13	10.00	6.67	26.67	43.33
	51	840	United States	30	2	0	23	25	6.67	0.00	76.67	83.33
Oceania	52	36	Australia	30	0	3	21	24	0.00	10.00	70.00	80.00
	53	554	New Zealand	30	0	6	12	18	0.00	20.00	40.00	60.00
Total				1,498	49	81	1,112	1,242	3.27	5.41	74.23	82.91

## Panel B 地域別

Region	No.Ctry	Ques.	Sig. 10%	Sig. 5%	Sig. 1%	Total	Sig. (%)			
							10%	5%	1%	Total
Africa	6	170	1	3	139	143	0.59	1.76	81.76	84.12
E.Asia	4	114	5	13	75	93	4.39	11.40	65.79	81.58
S.Asia	2	60	0	1	54	55	0.00	1.67	90.00	91.67
SE.Asia	4	105	2	6	78	86	1.90	5.71	74.29	81.90
Europe	5	97	3	5	71	79	3.09	5.15	73.20	81.44
Europe Nordic	3	90	7	9	54	70	7.78	10.00	60.00	77.78
Europe E.Europe	6	179	5	9	131	145	2.79	5.03	73.18	81.01
Europe E.Europe (F)USSR	9	264	6	9	213	228	2.27	3.41	80.68	86.36
S.America	7	209	9	9	163	181	4.31	4.31	77.99	86.60
M.E.	4	90	6	6	70	82	6.67	6.67	77.78	91.11
N.America	2	60	5	2	31	38	8.33	3.33	51.67	63.33
Oceania	2	60	0	9	33	42	0.00	15.00	55.00	70.00
Total	54	1,498	49	81	1,112	1,242	3.27	5.41	74.23	82.91

## Abbreviation

Sig.10%:	Significant 10%	ME:	Middle East
Sig.5%:	Significant 5%	N.America:	North America
Sig.1%:	Significant 1%	S.America:	Latin America and the Caribbean
(F)USSR:	Former USSR (Soviet Union)	S.Asia:	South Asia
E.Asia:	East Asia	SE.Asia:	Southeast Asia
E.Europe:	Eastern Europe		

## 5 むすび

本研究では、世界の多くの国々の会計基準がIFRSへと収斂する中で、世界の企業を対象とした財務情報の意思決定有用性に関する比較分析を行う場合に、各国の国民性を考慮した分析的枠組みが必要であると考えて、各国の国民性の測定とその変化について検討した。国民性の測定では、1990年代から2000年代に行われたWVSのアンケート調査をもとに、6つの構成要素を提示して、それらの構成要素の測定とその変化について明らかにした。分析の結果、以下のことが明らかになった。

国民性の構成要素は、ソーシャル・キャピタルの構成要素と言われる信頼、規範およびネットワークとの関連から説明された。信頼は、「社会制度に対する信頼」と「社会への信頼（安心感）から感じる幸福感」から説明された。規範は、「命や性に対する規範」、「宗教への意識（信心深さ）」および「法や規律への規範」から説明された。ネットワークは、「政治的活動への参加といった意欲」から説明された。

これらの構成要素の測定値は、国が異なることで異なっているが、すべての測定値が高い数

値を示したり、低い数値を示す国は存在しなかった。また、1990年代から2000年代にかけて、構成要素の測定値およびそのランクが、大きく変化する国が数多く存在した。その中で、地域によってその測定値および変化に特徴があることも明らかになった。

具体的に、「社会制度に対する信頼」は、アジア諸国や北欧諸国で高く、南米諸国や東欧諸国で低かった。「命や性に対する規範」は、中東諸国、アジア諸国、アフリカ諸国で高く、北欧諸国を含めてヨーロッパ諸国、オセアニア諸国で低かった。「宗教への意識（信心深さ）」は、アフリカ諸国、アジア諸国で高く、東アジア諸国、北欧諸国を含めてヨーロッパ諸国で低かった。「規律を遵守するという規範」は、地域による特徴は明らかでないが、日本、モロッコ、ヨルダン、オーストラリア、パキスタン、エジプト、ベトナムといった国々で高かった。一方、旧ソビエト連邦諸国で低かった。「社会への信頼（安心感）から感じる幸福感」は、南米諸国、北欧諸国を含めてヨーロッパ諸国、オセアニア諸国、北米諸国で高く、旧ソビエト連邦諸国で低かった。「政治的活動への参加といった意欲」は、北欧諸国を含めてヨーロッパ諸国、オセア

ニア諸国、北米諸国で高く、旧ソビエト連邦諸国、アジア諸国で低かった。

1990年代と2000年代を比較すると、「社会制度に対する信頼」、「命や性に対する規範」、「社会への信頼（安心感）から感じる幸福感」の測定値が上昇して、「宗教への意識（信心深さ）」、「法や規律への規範」、「社会への信頼（安心感）から感じる幸福感」の測定値は低下していた。

「社会制度に対する信頼」は、多くの国でランクの変動が大きかった。特に旧ソビエト連邦諸国は、キルギスなど大きくランクを上げた国と、大きくランクを下げた国が混在していた。「命や性に対する規範」は、旧ソビエト連邦諸国がランクを上げていて、アフリカ諸国、南米諸国がランクを下げている。「宗教への意識（信心深さ）」は、旧ソビエト連邦諸国を含めて東欧諸国がランクを上げたが、イギリスが測定値およびランクともに大きく下落した。「規律を遵守するという規範」は、旧ソビエト連邦諸国を含む東欧諸国などのヨーロッパ諸国がランクを上げていて、アジア諸国、アフリカ諸国がランクを下げている。「社会への信頼（安心感）から感じる幸福感」は、パキスタンが測定値およびランクともに大きく上昇した。旧ソビエト連邦諸国は、1990年代および2000年代ともに、測定値およびランクともに低かった。「政治的活動への参加といった意欲」は、測定値およびランクともにエジプトが大きく下落し、旧ソビエト連邦諸国を含めて東欧諸国も低下した。

1990年代と2000年代を比較することで、国民性の構成要素の測定値およびランクが、時代とともに変化することが明らかになった。これは、これまで先行研究が利用していた国民性の測定値が現代の各国の状況を必ずしも適切に表していない可能性のあることを指摘するものである。今後、国民性を考慮した国際比較分析を行う場合に、本研究での測定値を利用することで、これまで以上に正確な分析結果が得られることになる。

## 6 補遺 先進諸国の国民性の比較

向 [2017d] は、オーストラリア、カナダ、フランス、ドイツ、イギリス、日本およびアメリカといった先進諸国を対象として国民性を測

定している。そこでは、本研究でも利用したWVSのアンケート調査におけるWave5とWave6における質問への回答から国民性が測定されている。その過程では、質問への回答を標準化して、因子分析とSEMから国民性の構成要素の選択と測定が行われている。因子分析の結果では、国民性の構成要素は、「社会的信頼」、「宗教的社会規範」および「政治的ネットワーク」の3つに分けられていた。ここでの「社会的信頼」は、今回の調査における「社会制度に対する信頼」と「社会への信頼（安心感）から感じる幸福感」の両方を含んだものと位置づけられる。「宗教的社会規範」は、今回の調査における「宗教への意識（信心深さ）」に近いものであり、「政治的ネットワーク」は今回の調査における「政治的活動への参加といった意欲」に近いものと位置づけられる。向 [2017d] における国民性の測定結果は、図表9のPanel Aのとおりである。Panel Aは、社会的信頼、宗教に関する規範および政治的ネットワークのいずれにおいても、オーストラリアおよびカナダにおいて高く、日本において低いことを示している。

図表9のPanel Bは、今回の2000年代の国民性の構成要素に関する測定結果から、先進諸国7カ国を取り出して、今回の54カ国の調査による測定値とランクを示している。

信頼に関する「社会制度に対する信頼」の測定値およびランクでは、日本が7か国の中で第3位となっているが、その他のイギリス、アメリカ、フランスおよびドイツの測定値およびランクと大きな差異はない。「社会への信頼（安心感）から感じる幸福感」の測定値およびランクでは、日本は第6位であり、フランスと同様に低く位置付けられている。また、これらの信頼に関する測定値は、いずれもカナダおよびオーストラリアが上位に位置づいている。

規範に関する「宗教への意識（信心深さ）」およびネットワークに関する「政治的活動への参加といった意欲」は、今回の調査でも日本が第7位と最下位である。「宗教への意識（信心深さ）」における日本のランクは、54カ国の調査結果においても極めて低いことがわかる。

ここから、今回と前回の調査結果は、大きく矛盾するものではないと考えられる。また、今回の

調査では、前回の調査で構成要素に含まれていなかった「命や性に対する規範」および「規律を遵守するという規範」が含まれていて、調査対象国も増加していることから、前回以上に国民性の測定が適切に行われたものと考えられる。

図表9 ソーシャル・キャピタルの測定値

## Panel A 前回の調査結果

Country	信頼		規範		ネットワーク	
	Score	Rank	Score	Rank	Score	Rank
Australia	0.27	2	-0.16	4	0.67	2
Canada	0.31	1	-0.03	2	0.68	1
France	0.10	6	-0.18	6	0.59	5
Germany	0.24	3	-0.18	5	0.56	6
Japan	0.10	7	-0.20	7	0.34	7
United Kingdom	0.21	4	-0.11	3	0.66	3
United States	0.15	5	-0.02	1	0.63	4

## Panel B 今回の調査結果

Country	信頼:社会的制度			信頼:幸福感		
	Score	Rank		Score	Rank	
		54カ国中	7カ国中		54カ国中	7カ国中
Australia	4.387	22	2	8.422	14	3
Canada	4.419	19	1	8.593	6	1
France	4.291	29	6	8.223	32	7
Germany	4.275	30	7	8.354	19	5
Japan	4.354	26	3	8.252	27	6
United Kingdom	4.336	27	4	8.498	11	2
United States	4.320	28	5	8.405	15	4

Country	規範:宗教心			規範:生・性			規範:法・規律		
	Score	Rank		Score	Rank		Score	Rank	
		54カ国中	7カ国中		54カ国中	7カ国中		54カ国中	7カ国中
Australia	6.865	45	4	14.421	51	7	17.610	10	2
Canada	7.484	30	2	15.624	41	3	17.570	12	3
France	6.746	50	5	14.465	50	6	16.709	44	7
Germany	6.732	51	6	15.104	45	4	17.484	17	4
Japan	6.564	53	7	15.807	38	1	17.824	4	1
United Kingdom	6.964	43	3	14.921	47	5	17.326	23	6
United States	7.613	25	1	15.752	39	2	17.397	21	5

ネットワーク:政治的活動への参加		
Country	Score	Rank
		51カ国中 7カ国中
Australia	4.027	5 1
Canada	3.978	7 3
France	3.972	8 4
Germany	3.788	10 6
Japan	3.570	16 7
United Kingdom	3.880	9 5
United States	3.986	6 2



## 参考文献

- Chhokar, J. S., F. C. Brodbeck, and R. J. House, ed. (2008) *Culture and Leadership Across the World: The GLOBE Book of In-Depth Studies of 25 Societies*. Lawrence Erlbaum Associates, Publishers.
- Dasgupta, P., and I. Serageldin (1999) *Social Capital: A Multifaceted Perspective*. The World Bank.
- Doupnik, T. S., and S. B. Salter (1995) External Environment, Culture, and Accounting Practice: A Preliminary Test of a General Model of International Accounting Development. *The International Journal of Accounting*. 30. pp.189-207.
- Góis, A. D., G. A. S. Franco de Lima, N. Alves de Sousa, and M. J. C. Malacrida (2018) The Effect of National Culture on the Relationship between IFRS Adoption and the Cost of Equity Capital. *Journal of International Accounting Research*. 17 (3). pp.69-85.
- Gray, S. J. (1988) Towards a Theory of Cultural Influence on the Development of Accounting Systems Internationally. *Abacus*. 24. pp.1-15.
- Gray, S. J., T. Kang, and Y. K. Yoo (2013) National Culture and International Differences in the Cost of Equity Capital. *Management International Review*. 53. pp.899-916.
- Gray, S. J., T. Kang, Z. Lin, and Q. Tang (2015) Earnings Management in Europe Post IFRS: Do Culture Influences Persist? *Management International Review*. 55. pp.827-856.
- Grootaert, C., and T. van Bastelaer ed. (2002) *Directions in Development. Understanding and Measuring Social Capital: A Multidisciplinary Tool for Practitioners*. The World Bank.
- Grootaert, C., and D. Narayan (2004) Measuring Social Capital: An Integrated Questionnaire. *World Bank Working Paper No.16*. The World Bank.
- Guan, L., H. Pourjalali, P. Sengupta, and J. Teruya (2005) Effect of Cultural Environment on Earnings Manipulation: A Five Asia-Pacific Country Analysis. *The Multinational Business Review*. 13. pp.23-41.
- Gupta, A., K. Raman, and C. Shang (2018) Social Capital and the Cost of Equity. *Journal of Banking and Finance*. 87, pp.102-117.
- Han, S., Kang, T., S. Salterm, and Y. K. Yoo (2010) A Cross-country Study on the Effects of National Culture on Earnings Management. *Journal of International Business Studies*. 41. pp.123-141.
- Hashim, H. A. (2012) The Influence of Culture on Financial Reporting Quality in Malaysia. *Asian Social Science*. 8. pp.192-200.
- Healy, T., and S. Cote (2001) *The Well-being of Nations: The Role of Human and Social Capital*. OECD. (日本経済調査協議会訳 (2002) 『国の福利：人的資本及び社会的資本の役割』日本経済調査協議会。)
- Hofstede, G. (1980) *Culture's Consequences: International Differences in Work-Related Values*. SAGE. (萬成博・安藤文四郎監訳 (1984) 『経営文化の国際比較』産業能率大出版部。)
- Hofstede, G. (1984) *Culture's Consequences: International Differences in Work-Related Values (Abridged Edition)*. SAGE.
- Hofstede, G. (1991) *Cultures and Organizations: Software of the Mind*. The McGraw-Hill Companies.
- Hofstede, G. (2001) *Culture's Consequences: Comparing Values, Behaviors, Institutions, and Organizations Across Nations (Second Edition)*. SAGE.
- Hofstede, G., and G. J. Hofstede (2005) *Cultures and Organizations: Software of the Mind*. The McGraw-Hill Companies.
- Hofstede, G., G. J. Hofstede, and M. Minkov (2010) *Cultures and Organizations: Software of the Mind*. The McGraw-Hill Companies. (岩井八郎・岩井紀子訳 (2013) 『多文化社会：違いを学び未来への道を探る』有斐閣。)
- Hope, Ole-Kristian (2003) Firm-level Disclosures and the Relative Roles of Culture and Legal Origin. *Journal of International Financial Management and Accounting*. 14 (3). pp.218-248.
- House, R. J., P. J. Hanges, M. Javidan, P. W. Dorfman, and V. Gupta, ed. (2004) *Culture, Leadership, and Organizations: The GLOBE Study of 62 Societies*. SAGE.

- House, R. J., P. W. Dorfman, M. Javidan, P. J. Hanges, and M. F. Sully de Luque (2014) *Strategic Leadership Across Cultures The GLOBE Study of CEO Leadership Behavior and Effectiveness in 24 Countries*. SAGE.
- 稲葉陽二編 (2008) 『ソーシャル・キャピタルの潜在力』日本評論社。
- 池田謙一編 (2016) 『日本人の考え方・世界の人の考え方：世界価値観調査から見えるもの』勁草書房。
- Inkeles, A. (1997) *National Character*. Transaction Publishers. (吉野諒三訳 (2003) 『国民性論』出光書店。)
- 国領二郎 (2013) 『ソーシャルな資本主義』日本経済新聞出版社。
- Kwok, C. C. Y., and S. Tadesse (2006) National Culture and Financial Systems. *Journal of International Business Studies*. 37 (2). pp.227-247.
- McGuire, S. T., T. C. Omer, and N. Y. Sharp (2012) The Impact of Religion on Financial Reporting Irregularities. *The Accounting Review*. Vol.87. pp.645-673.
- 宮川公男・大守隆編 (2004) 『ソーシャル・キャピタル』東洋経済新報社。
- 向伊知郎 (2017a) 「IFRS 適用企業における財務情報の分析的枠組み」『会計・監査ジャーナル』29 (6). pp.83-89.
- 向伊知郎 (2017b) 「ビッグデータを用いた国際会計研究の発展可能性」『税経通信』72 (10). pp.157-166.
- 向伊知郎 (2017c) 「ソーシャル・キャピタルに基づいた国民性の評価～国際会計研究への利用を念頭に～」『経営学研究』27 (3&4). pp.35-50.
- 向伊知郎 (2017d) 「世界価値観調査に基づいたソーシャル・キャピタルの測定～国際会計研究の分析モデル構築に向けて～」『経営管理研究所紀要』(愛知学院大学) 24. pp.89-106.
- 向伊知郎 (2019a) 「国民性が利益の質に及ぼす影響の国際比較」橋本 尚編『現代会計の基礎と展開』同文館出版. pp.69-83.
- 向伊知郎 (2019b) 「国民性と国際的会計基準適用企業の資本コスト」『経営管理研究所紀要』(愛知学院大学) 26. pp.53-70.
- Mulder, M. (1977) *The Daily Power Game*. Springer.
- Nabar, S., and K. K. Boonlert-U-Thai (2007) Earnings Management, Investor Protection, and National Culture. *Journal of International Accounting Research*. 6 (2). pp.35-54.
- 内閣府国民生活局 (2003) 『ソーシャル・キャピタル：豊かな人間関係と市民活動の好循環を求めて』内閣府。
- Putnam, R. D. (1993) *Making Democracy Work*. Princeton University Press. (河田潤一訳 (2001) 『哲学する民主主義』NTT出版。)
- Riahi, R., and A. Omri (2013) Cultural Relativism in Earnings Management. *International Journal of Business Research*. 3 (3). pp.281-295.
- Scrivens, K., and C. Smith (2013) Four Interpretations of Social Capital: An Agenda for Measurement. *OECD Statistics Working Papers*. OECD Publishing.
- Stulz, R., and R. Williamson (2003) Culture, Openness, and Finance. *Journal of Financial Economics*. 70 (3). pp.313-349.
- 統計数理研究所 (2015) 『アジア・太平洋価値観国際比較調査』統計数理研究所。
- Ugrin, J. C., T. W. Mason, and A. Emley (2017) Culture's consequence: The relationship between income-increasing earnings management and IAS/IFRS adoption across cultures. *Advances in Accounting*. 37. pp.140-151.
- Zarzeski, M. T. (1996) Spontaneous Harmonization Effects of Culture and Market Forces on Accounting Disclosure Practices. *Accounting Horizons*. 10 (1). pp.18-37.

本研究は、令和2年度科学研究費・基盤研究(C)一般・課題番号19K02001の助成金および愛知学院大学経営管理研究所の個人研究プロジェクトの研究助成を受けた研究成果の一部である。

図表7 国別国民性の構成要素のバランスとその変化

